

VIII 文化財保護

1 有形文化財

(1) 建造物

①重文 新垣家住宅主屋ほか3棟 建造物保存修理（公開活用）（那覇市）

事業目的：重要文化財の適正保存 事業内容：経年劣化による主屋、作業場、離れ等の保存修理

	平成29年度実績額（千円）	平成30年度実績額（千円）
市補助額	862	3,197
県補助額	859	3,197
国庫補助額	6,884	25,578
所有者	1	0
合計	8,606	31,972

②重文 新垣家住宅主屋ほか3棟 防災・耐震対策重点強化（防砂施設等）（那覇市）

事業目的：重要文化財の適正保存 事業内容：経年劣化による主屋、作業場、離れ等の保存修理

	平成29年度実績額（千円）	平成30年度実績額（千円）
市補助額	—	726
県補助額	—	724
国庫補助額	—	5,799
所有者	—	4
合計	—	7,253

③国選定 竹富町竹富島重要伝統的建造物群基盤強化事業（竹富町）

事業目的：竹富島重要伝統的建造物群保存地区内の建造物保存修理

	平成29年度実績額（千円）	平成30年度実績額（千円）
町補助額	757	1,198
県補助額	618	978
国庫補助額	5,499	8,701
合計	6,874	10,877

④県指定重要文化財 天后宮保存修理事業（久米島町）

事業目的：県指定有形文化財の適正保存 事業内容：経年劣化による屋根瓦前面修理

	平成29年度実績額（千円）	平成30年度実績額（千円）
町補助額	4,855	—
県補助額	4,855	—
国庫補助額	0	—
合計	9,710	—

(2) 美術工芸

① 在外沖縄関連文化財調査

事業総額：896千円

事業種別：県単独事業

事業主体：沖縄県

調査期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

調査目的：琉球王国時代から現在に至るまで、沖縄では数々の優れた価値を有する文化財が生み出されてきたが、様々な理由によって、散逸してしまった。本調査は海外に散逸した、琉球関係の資料を収集することにより、沖縄戦などで失われた文化財を補完し、沖縄文化の体系化の基礎資料作成を目的としている。

② 琉球国王尚家関係資料修復

事業総額：22,050千円（国17,600千円、県1,105千円、市3,345千円）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：那覇市

修復期間：平成30年4月17日～平成31年3月22日

修復目的：琉球国王尚家関係資料とは、1995年～1996年に那覇市に寄贈された文書類1,341件、美術工芸品85件をいう。その中から、尚家の個人資料や現代資料を除いた1,166件の尚家文書、並びに85件の美術工芸品が2006年に国宝として指定された。これらの資料は沖縄戦で多くの文化遺産を失った沖縄にとって、近世琉球期の政治・経済・文化、あらゆる面の解明に役立つ、重要な資料群である。

早急に修理・補修を行い、広く展示・公開しなければならないが、文書点数が多いため、損傷状態の診断を行い、より劣悪な状態のものから優先的に修復する方針で、12年計画で実施する。

事業概要：前年に引き続き、尚家文書国宝指定分1,166件のうち、国宝「琉球国王尚家関係資料」の文書記録類国宝「琉球国王尚家関係資料」の文書記録類37冊の修理もおこなった。

(3)銃砲刀剣類の登録

①沖縄県銃砲刀剣類登録審査委員

* 沖縄県教育委員会委嘱(平成30年9月12日から令和2年9月11日)

大嶺 信義(刀剣研究家)、上原 正人(刀剣研究家)、兼濱 昇(刀工)

②登録審査会

【輸入刀剣類の登録審査会(新規登録)】

日 時:平成30年12月13日(木)15:00～

場 所:沖縄地区税関那覇外郵出張所

審査件数:1件(内訳:刀1)

登録証交付件数(新規登録):1件

【登録審査会(新規登録及び現物確認審査)】

日 時:平成31年2月28日(木)13:00～17:00

場 所:沖縄県立埋蔵文化財センター 会議室

審査件数:13件(内訳:刀9、わきざし4)

登録証交付件数(新規登録):4件、登録証再交付件数:1件

③新規登録申請件数及び登録件数

区 分	種 別	申請件数	登録件数	備 考
刀 剣	た ち	0	0	
	刀	4	4	
	わきざし	1	1	
	短 刀	0	0	
	や り	0	0	
	なぎなた	0	0	
古式銃砲	火 縄 銃	0	0	
	その他の古式	0	0	
合 計		5	5	

④証紙出納実績

	審査件数	登録審査手数料	出納実績	備 考
審査手数料(新規登録)	5	6,300円/件	31,500円	
審査手数料(再 交 付)	1	3,500円/件	3,500円	
制作承認手数料	0	800円/件	0円	
合 計			35,000円	

⑤登録を受けた銃砲刀剣類の譲り受け・貸付け・登録証再交付などの届出件数

種 別	銃砲類	刀剣類	計
譲り受け	0	8	8
相 続	0	0	0
貸 付 け	0	0	0
保管の委託	0	0	0
登録証再交付	0	3	3
合 計	0	11	11

2. 無形文化財

(1) 芸 能 (伝承者養成事業)

①重要無形文化財「琉球舞踊」伝承者養成事業

事業総額：7,339千円（国7,000千円、県144千円、保存会195千円）

実施内容：国補助による琉球舞踊保存会直営事業（会長：宮城能鳳）

事業内容：伝承者養成研修を実施し、研修成果の発表会を行った。

事業期間：平成30年4月2日～平成31年3月31日

研 修 会：期日、内容等は下記のとおり。

研修趣旨：琉球舞踊の古典舞踊と二歳踊りについて、それぞれの師匠の技を再現し、確認することで、琉球舞踊に伝えられる技について演目ごとに理解を深める。

保持者を中心に現在の実演家たちが師事した師匠の技を再現し、流派を越えて学習することを旨とする。

内 容：古典女踊「柳」と二歳踊「高平良万歳」について、各系統ごとに先達のわざを再現し、技術研修の成果を発表した。発表と、有識者の講話を2日間開催。

琉球舞踊の古典七踊の研修

ア 系統の整理（琉球王国時代の御冠船踊りの芸統をひく7人の先達を基に整理）

現在の琉球舞踊保持者を中心に整理すると下記のとおり。 ※ 下線部は物故者

玉城盛重 { ①玉城盛義：玉城節子、玉城秀子、谷田嘉子、金城美枝子、又吉静枝
②島袋光裕：島袋光晴、佐藤太圭子
③親泊興照：二代目親泊興照
④宮城能造：宮城能鳳
⑤真境名佳子：宮城幸子、喜納幸子
⑥真境名由康：真境名直子（2013年逝去のため、真境名結子と協議）

嵩原安詩 { ⑦比嘉清子：大城政子
⑧田島清郷：志田房子

伝承者を中心に整理すると下記のとおり。

新垣松含 ⑨比嘉澄子
渡嘉敷守良 ⑩児玉清子 二代目児玉清子・由利子 金城光子 花岡勝子
読谷山親雲上 ⑪金武良章 安座間澄子 安座間明美
川平親雲上 ⑫阿波連本啓 阿波連蘭子
屋我良勝 ⑬山田貞子 山内小夜 山内喜美枝
※ 宮城能造：二代目宮城能造
田代タカ子 宮城美能留：宮城早苗・園美

イ 研修方法

古典七踊りについては、現在の琉球舞踊保持者の技の源流である玉城盛重と嵩原安詩について、8（上記の①～⑧）グループに分ける。琉球舞踊保持者に担い手がいない読谷山親雲上、新垣松含、屋我良勝、川平親雲上、渡嘉敷守良の5人の師匠の技について5（⑨～⑬）に分けて研修を実施する。

あわせて、演目についての講話を実施する。

a 「御冠船踊りの形成と展開の歴史」 6月16日 金城 厚（沖縄県立芸術大学教授）

b 「柳と高平良万歳の詞章について」 2月2日 波照間永吉（顧問）

実技研修に重きをおき、各分野より選ばれた選抜研修生（約76名）と、一般研修生（約400名）にわけると。

選抜研修生には9月の実技研修、および2月の成果発表会への出演を課す。実技研修は稽古着だが、成果発表会は衣装着用・拵えあり。

その他の一般研修は、12月の全員研修にて保持者の前で課題演目の演舞を行う（稽古着・拵えなし）。

ウ 演目

平成30年度は、古典舞踊「柳」、二歳踊「高平良万歳」

エ 研修回数

平成30年度は以下の7回の研修を行う。

a 開講式（6月16日） ※ 全員対象

- b 選抜研修（9月23日・24日） ※選抜者対象
- c 実技発表会（平成30年12月23日・24日） ※全伝承者対象（選抜者を除く）
- d 成果発表会および講話（2月2日・3日） ※出演は選抜者、出席は全員対象
選抜者は2回（9月23日・24日）の研修を行い、その成果を踏まえて2回の成果発表公演（2月2日・3日）を実施する。
※衣装、化粧、道具等についても師からの教を再現する。
※研修成果発表会は一般観客にも披露する。

オ 研修報告

- a 開講式（平成30年6月16日 会場：ているる）
伝承者全員を対象とした開講式及び講話。
講話は沖縄県立芸術大学教授 金城厚「御冠船踊りの形成と展開の歴史」。御冠船踊りの形成について、映像資料等を使用しながら、概略的な講義を行った。
来賓には沖縄県教育庁文化財課長の濱口寿夫氏（代理：班長 德里政哉）、及び当会顧問の田中英機氏を招いて、一人ずつ激励の言葉を頂いた。
- b 選抜研修（平成30年9月23日・24日 会場：国立劇場おきなわ大稽古室）
平成30年度の選抜者（約80名）を対象とした研修。
全体を13グループにわけ、グループごとによる演舞を行う。選抜研修に選ばれると、最低1ヶ月に1回、各自にて稽古を行う（稽古の様子は稽古表を提出）。その後、この9月の選抜研修にて全保持者の前で演舞を披露し、指導を受ける。9月の選抜研修は、衣裳は舞踊・地謡ともに稽古着で、拵えは行わない。
- c 技能発表会（平成30年12月23日 会場：国立劇場おきなわ大稽古室
・24日 会場：てだこホール練習室1）
平成30年度の選抜者以外（約400人）を対象とした研修。全体を24グループにわけ、グループごとによる演舞を行う。各自にて稽古の後、この技能発表会にて全保持者の前で演舞を披露し、指導を受ける。衣裳は舞踊・地謡ともに稽古着で、拵えは行わない。
- d 成果発表会（平成31年2月2日・3日 会場：国立劇場おきなわ大劇場）
9月の選抜研修をへて、集大成となる成果発表会を行う。舞踊は衣裳・拵えを行い、地謡は黒朝を着用。
1日目に有識者による講話を行う。顧問・波照間永吉氏による「柳と高平良万歳の詞章について」。本年度の課題曲について、文法的な観点から解説を行った。
本成果発表会は、全伝承者が出席して鑑賞するとともに、ひろく一般にも公開し、琉球舞踊の普及につとめる。また前日の1日にリハーサルを行った。

－出演者名簿（1日目：①～⑥グループ／2日目：⑦～⑬グループ）－

○印が地謡リーダー ※太鼓は「高平良万歳」のみ出演

- ①舞踊：（玉城流扇寿会）池間隼人・金城真次
地謡：（歌三線）（安富祖流 A）○松本紀・大嶺雅規・源河徳淳・國仲貴光
（箏）上原妙子 （笛）清村まり子 （胡弓）石川清二 （太鼓）金城睦昭
- ②舞踊：（玉城流玉扇会）金城千夏
地謡：（歌三線）（野村流保存会 A）○山城暁・大湾朝重・池原憲彦・新垣俊道
（箏）喜久村克子
（笛）宇保朝輝 （胡弓）玉那覇昌子 （太鼓）護得久枝美
- ③舞踊：（玉城流翔節会）松原和美・金城貴子・知念亜希
地謡：（歌三線）（安富祖流 B）○宮里敏則・新垣一典・眞榮城玄俊・大城博子・又吉由美子
（箏）知念千香子 （笛）清村まり子 （胡弓）石川清二 （太鼓）金城睦昭
- ④舞踊：（宮城本流鳳乃會）新垣悟・新里春加
地謡：（歌三線）（野村流保存会 A）○山城暁・大湾朝重・池原憲彦・新垣俊道
（箏）比嘉淳江 （笛）宇保朝輝 （胡弓）玉那覇昌子 （太鼓）護得久枝美
- ⑤舞踊：（親泊本流親扇会）比嘉いずみ・豊平すずか
地謡：（歌三線）（安富祖流 B）○宮里敏則・新垣一典・眞榮城玄俊・大城博子・又吉由美子
（箏）宮平栄子 （笛）宇保朝輝 （胡弓）石川清二 （太鼓）護得久枝美
- ⑥舞踊：（玉城流いずみ会）吉元路 （玉城流てだの会）石川直也
地謡：（歌三線）（安富祖流 A）○松本紀・大嶺雅規・源河徳淳・國仲貴光
（箏）佐渡山久江 （笛）清村まり子 （胡弓）石川清二 （太鼓）金城睦昭
- ⑦舞踊：（朱日流）宮城尚子・宮城由紀子
（宮城流美能留会）松田恵・金城保子
地謡：（歌三線）（野村流保存会 B）○上原伸浩・末吉政利・池原朝雄・喜納昌盛
（箏）名護みのり （笛）宮城英夫 （胡弓）崎原盛勇 （太鼓）宮雄二

- ⑧舞踊：(宮城流) 嘉数道彦 (宮城元流) 宇座仁一
地謡：(歌三線) (野村流協会) ○比嘉康夫・名城一幸・仲村渠達也
(箏) 玉城弘子 (笛) 知念久光 (胡弓) 又吉真也 (太鼓) 神山常夫
- ⑨舞踊：(松含流) 野原エリサ・松川好美
(真南風流) 金城博恵 (柳清本流) 新城恵子
地謡：(歌三線) (野村流保存会 B) ○上原伸浩・末吉政利・池原朝雄・喜納昌盛
(箏) 香取美恵子 (笛) 宮城英夫 (胡弓) 崎原盛勇 (太鼓) 宮雄二
- ⑩舞踊：(真境名本流) 真境名英美 (道扇流) 武富美智子 (琉球舞踊穂花会) 川満香多
地謡：(歌三線) (野村流協会) ○比嘉康夫・名城一幸・仲村渠達也
(箏) 宮城敬子 (笛) 知念久光 (胡弓) 又吉真也 (太鼓) 神山常夫
- ⑪舞踊：(玉城流喜納の会) 西村綾乃 (玉城流焯扇会) 新垣麻里子
(玉城流七扇敏風会) 城間末子 (玉城流琉扇会) 平田智之
地謡：(歌三線) (野村流保存会 B) ○上原伸浩・末吉政利・池原朝雄・喜納昌盛
(箏) 具志堅初美 (笛) 宮城英夫 (胡弓) 崎原盛勇 (太鼓) 宮雄二
- ⑫舞踊：(安座間本流) 久手堅一子・山城亜矢乃 (宗家真境名本流真薫会) 仲程めぐみ
地謡：(歌三線) (野村流協会) ○比嘉康夫・名城一幸・仲村渠達也
(箏) 赤嶺スエ子 (笛) 知念久光 (胡弓) 又吉真也 (太鼓) 神山常夫
- ⑬舞踊：(渡嘉敷流) 棚原由里子 ※「柳」3曲構成のため(チラシは本散山節)
地謡：(歌三線) (野村流保存会 B) ○上原伸浩・末吉政利・池原朝雄・喜納昌盛
(箏) 稲福貴子 (笛) 宮城英夫 (胡弓) 崎原盛勇 (太鼓) 宮雄二

②選定保存技術「結髪(沖縄伝統芸能)」伝承者養成事業

事業総額：1,472千円(国1,106千円、県69千円、保持者297千円)

実施方法：国・県補助による保持者直営事業

事業主体：古波蔵佐紀(雅号 小波則夫)

伝承者：古波蔵ひろみ 田口博章

事業期間：平成30年4月2日～平成31年3月31日

場 所：自宅工房

事業内容：今回の研修では、鬘を使用した丸結と女結(イナグカラジ)の結髪法を教授した。今期の鬘は、女結(イナグカラジ)用であるが、この鬘は若衆結にも使用するため、若衆の簪や髪飾りなどの挿し方も教授し、女結の簪の挿し方も併せて教授した。昨今は男性舞踊家の殆どが、若衆や女役では鬘を使用するため本研修を行った。鬘は繊細な作りであるため、扱い方に注意が必要であり、扱い方は念入りに教授した。また、実演家の顔、イメージを作りながら装着させる必要があることから、結髪法と併せイメージ作りを習得させた。特に、男性舞演家の場合は頭部(鉢)の大きさに考慮し、女形に見せる工夫も習得させた。

概 要：1 結髪伝承者養成事業として、2名の伝承者に対し、25日間の研修を実施した。

2 結髪技術普及のためのリーフレットを作成した。

3 結髪技術伝承のための教則DVDを作製した。

作業内容：1 鬘の持ち方、櫛入れ技法の習得させた。(4月)

2 実演家の顔立ちや地毛の量を熟知させ、地毛の収納方法や鬘の装着法及び頭部への固定方法を習得させた。(5～7月)

3 鬘と髷のスムーズな櫛入れ法及び油の分量、油付けを習得させた。(8、9月)

4 丸結、女結(イナグカラジ)の鬘(ハイ)、髷(ウシル)の出し方、櫛捌きを習得させた。様々な顔立ちを想定した髷や鬘、髷の大きさを習得させた。(10～12月)

5 鬘に簪や髪飾り(若衆結の場合)の装着法を習得させた。(1、2月)

6 鬘の結髪法、丸結、女結(イナグカラジ)の総合復習させた。(3月)

③選定保存技術「組踊道具・衣裳製作修理」伝承者養成事業

事業総額：7,204千円(国7,000千円、県94千円、保存会110千円)

実施方法：国・県補助による組踊道具・衣裳製作修理保存会直営事業

事業主体：組踊道具・衣裳製作修理技術保存会

事業期間：平成30年4月2日～平成31年3月31日

場 所：各技術者の工房

事業内容：道具・衣裳製作修理は、沖縄の伝統芸能である「組踊」で使用される各種の道具と、各役柄に応じた伝統的な衣裳を製作し、修理する技術であり、国の重要無形文化財「組踊」の保存に欠くことはできない。

- 1 道具：組踊道具の製作をした。技術者4名で、伝承者6名を指導した。
合計461回の研修を行った。
 - (1) 講師：金城裕幸 新垣孝 平田智之 上原じゅん子
 - (2) 伝承者：宮城優子 金城小百合 城間貞光
江洲のぶ子 佐渡山也子 比嘉建秀
- 2 衣装：組踊衣装の製作をした。技術者1名で、伝承者1名を指導した。
合計29回の研修を行った。
 - (1) 講師：嘉手納タケ子
 - (2) 伝承者：満名苗子
- 3 技能・技術の錬磨：
県内外にある作品・素材・技術（舞台公演を含む）を見学し、それぞれの知識を高め、作品・技術に反映させた。

④重要無形文化財「組踊」伝承者養成事業

事業総額：12,198千円（国12,000千円、県134千円、保存会64千円）

実施方法：国補助による一般社団法人伝統組踊保存会直営事業

事業内容：伝承者養成研修を実施し、研修成果の発表会を行った。

事業期間：平成30年4月2日～平成31年3月31日

研修会：期日、内容等は下記のとおり。

研修の目的：伝承者に実技研修と教養講座（座学）を実施し技芸のさらなる向上を図る。

保持者は、伝承者の技量向上に資するように指導に努める。

- 基本方針：1 実技指導は、伝統組踊保存会会員である保持者が行う。座学講座については、外部講師の招聘も考慮する。
- 2 立方・地謡に色々な役柄を与え、将来の指導者としての資質・能力を養うように指導する。
- 3 補助事業における伝承者は、20～30代の若手と中堅層をもって編成する。
今年度は、伝承者55名（立方22名、地謡33名）を対象に実施する。
- 4 指導計画を策定し、日々の研修・稽古を重視して技能向上を最重点に置く。
- 5 座学講座、実技研修の成果確認は舞台発表を実施して行う。

研修内容：1 実技研修

- (1) 実技研修演目は、朝薫の五番（「護佐丸敵討」「執心鐘入」「女物狂」「銘苅子」「孝行の巻」と「手水の縁」「萬歳敵討」「花売の縁」とする。
- (2) 前期・後期、各15回の研修を実施。年間に二演目を研修する。

2 座学

- (1) 座学は、琉球の歴史、芸能史、組踊の歴史的背景、組踊に関する事項、組踊と他の伝統芸能の比較等。全6回講座実施。

3 成果発表会の実施

成果発表会を実施する。場所は、国立劇場おきなわ大劇場

前期は平成30年9月2日（日）「執心鐘入」

後期は平成31年2月17日（日）「花売の縁」

⑤記録作成等の措置を講ずべき無形文化財「琉球古典箏曲」記録保存調査事業

事業総額：2,002千円（国1,982千円、県9千円、保存会11千円）

実施方法：国・県補助による琉球古典箏曲記録保存調査会直営事業

事業主体：琉球古典箏曲記録保存調査会

事業期間：平成30年4月2日～平成31年3月31日

調査員：金城厚（沖縄県立芸術大学教授）、比嘉悦子（沖縄県文化財保護審議会委員）

大城學（文化審議会専門委員）、野川美穂子（東京藝術大学非常勤講師）

井口はる菜（関西外国語大学講師）……5名

（調査補助員）又吉恭平（団体職員）、遠藤美奈（沖縄県立芸術大学非常勤講師）

全体計画：平成30年度：事前調査・研究 平成31年度：本格調査・研究・記録保存録音録画

平成32年度：調査まとめ、報告書作成

- 事業概要：(1) 琉球古典箏曲の歴史について、史料研究によりこれを解明し、琉球古典箏曲の成立と展開、および日本音楽史における琉球古典箏曲の位置、近世邦楽全般との関係について解明する。
- (2) 琉球古典箏曲の現状について、演奏の録音によりこれを記録し、技芸の保存をはかる。

(3) 琉球古典箏曲の諸技法について、現在の伝承者への聞き取り調査と録音によりこれを記録し、技芸の保存をはかる。

事業内容： 4回の研究会と3回の実地調査を行う。調査は3年を計画しており、本年度基本調査を行う。調査員は5名とし、うち1名は千葉県在住者、1名は滋賀県在住者、3名は沖縄県在住者とする。調査補助員は2名とし、いずれも那覇市近郊在住者とする。

調査会会議：(第1回)日 時：4月28日(土)13時～17時、

場 所：沖縄県立芸術大学音楽棟講義室41

参加者：調査員 金城、比嘉、大城、野川、井口

内 容：(基調報告) 金城 厚

問題の所在と、本調査会の課題について提案した。

例示として、琉球古典箏曲の歌物〈源氏節〉についての研究状況を解説した。次回調査会までの課題と担当等を検討した。

(第2回)日 時：9月9日(日)13時～17時、 10日(月)10時～12時

場 所：沖縄県立芸術大学 奏楽堂講義室 附属図書芸術資料館

参加者：調査員 金城、比嘉、大城、野川、井口

内 容：(報告) 井口はる菜

歌物3曲〈源氏節〉〈船頭節〉〈対馬節〉の歌詞について、日本文学における広がりについて、研究結果を報告した。

(講演) 仲嶺貞夫

琉球古典箏曲の伝承状況、技術的な課題について、伝承者の見地から報告した。

(資料調査) 沖縄県立芸術大学附属図書芸術資料館にて、同館所蔵の「手登根工四」を観覧した。

(第3回)日 時：12月26日(水)14時～17時、 27日(木)10時～12時

場 所：沖縄県立芸術大学音楽棟講義室41

参加者：調査員 金城、比嘉、大城、野川、井口

内 容：(報告) 野川美穂子

琉球古典箏曲の歴史史料の課題を整理した結果を報告した。

(講演) 宮里秀明

琉球古典箏曲の伝承状況、技術的な課題について、伝承者の見地から報告した。

(第4回)日 時：3月3日(日)10時～16時

場 所：沖縄県立芸術大学音楽棟講義室41 小合奏室

参加者：調査員 金城、比嘉、野川、井口

内 容：(講演) 井口はる菜

前週に国立歴史民俗博物館に出張して行った「日本民謡データベース」の調査結果について報告した。

(ワークショップ) 実演指導・上地尚子

琉球箏の調弦法と諸技法について、実演により解説した。

現地調査：(第1回)日 時：2月11日(月)～12日(火)

場 所：国立歴史民俗博物館(千葉県佐倉市) 調査者：井口はる菜

(第2回)日 時：3月9日(土)～11日(月)

場 所：松原武実氏ほか(鹿児島市内)、九州大学(福岡市)

調査者：比嘉悦子 調査補助：遠藤美奈

(第3回)日 時：3月27日(水)～30日(土)

場 所：石本家跡地ほか(熊本天草市)、松原武実氏ほか(鹿児島市内)

調査者：比嘉悦子 調査補助：遠藤美奈

⑥ 県指定無形文化財「琉球歌劇」伝承者養成事業

事業総額：1,217千円(県648千円、保存会569千円)

実施方法：県補助による琉球歌劇保存会直営事業(会長：吉田妙子)

事業内容：幕間舞踊「川平節」「汀間当」、喜歌劇「首里登小」歌劇「豊年」を、技能保持者指導のもと、18名の伝承者が研修し、その成果を発表した。

事業期間：平成30年10月31日(水)～平成30年12月28日(金)

研 修：平成30年10月31日(水)～平成30年11月18日(日)

発表会：平成30年11月20日(火) 18:00開演

場 所：那覇市ぶんかテンプス館 ホール

研修期間：立ち稽古8回（発表会も含む）

指導者：中曾根律子 瀬名波孝子 嘉数好子 吉田妙子 平良進 八木政男
研修者：玉城敦子 仲吉茜 知花小百合 比嘉大志 普久原明 島袋ゆかり
安次嶺利美 与座まさえ 赤嶺啓子 糸数清 高宮城実人 嘉陽田朝裕
知念あき 当銘由亮 天願雄一 小嶺和佳子 金城清徳 山里進 以上18名

⑦県指定無形文化財「沖縄伝統音楽野村流」伝承者養成事業

事業総額：300千円（県100千円、保存会200千円）

実施方法：県補助による沖縄伝統音楽野村流保存会直営事業（会長：大城長俊）

事業内容：野村流の正しい継承と発展及び芸能文化の向上を図ることを目的に、会員（保持者、伝承者）を対象に、大昔節を中心とした研修会と「歌三線」に関する講話を実施した。

事業期間：平成30年9月16日～平成31年3月29日

(1) 研修会

ア 開催日：平成30年9月16日（日）

場所：浦添市産業振興センター 結の街

参加人数：147人

研修内容：長ちゃんな節、伊集早作田節、仲節、清屋節

イ 開催日：平成30年12月1日（土）

場所：浦添市産業振興センター 結の街

参加人数：152人

研修内容：仲節、清屋節、長伊平屋節

(2) 講話

ア 開催日：平成30年9月16日（日）

場所：浦添市産業振興センター 結の街

参加人数：147人

内容：「ウタサンシン」のことばの周辺

イ 開催日：平成30年12月1日（土）

場所：浦添市産業振興センター 結の街

参加人数：152人

内容：御殿・殿内の音色ーウトゥイムチの名器とその音ー

(3) 指導者：大城長俊 諸見里安次 照屋勝義 中村一雄

(4) 講師：園原 謙（県立博物館・美術館） 長浜真勇（野村流音楽協会）

⑧県指定無形文化財「沖縄伝統音楽安富祖流」伝承者養成事業

事業総額：300千円（県100千円、保存会200千円）

実施方法：県補助による沖縄伝統音楽安富祖流保存会直営事業（会長：照喜名朝一）

事業内容：年間事業計画により伝承者養成事業を毎月1回開催し保持者が指導を行った。また、文化的知識を深め、資質の向上を図る目的に専門家、研究家講師を招聘し特別講演会を実施した。

事業期間：平成30年8月26日～平成31年3月24日

(1) 研究会・研修会

ア 保持者研究会 毎月1回 第4日曜日 10:00～12:00

テーマ 伝統音楽安富祖流の研究

イ 伝承者研修会 毎月1回 第4日曜日 10:00～12:00

テーマ 伝統音楽安富祖流の研究

(2) 特別講演会（保持者・伝承者研修）

日時：平成30年8月26日（日）11:00～12:00

講師：茂木仁史氏（国立劇場おきなわ調査養成課 課長）

演題：「組踊300年ー琉球王府の組踊ー」

場所：浦添市産業振興センター「結の街」

回数	開催日	内容・研修場所	備考
1	8月26日	定例研修会（浦添市産業振興センター「結の街」）	研修指導 保持者
		特別講演会（浦添市産業振興センター「結の街」） 講師 茂木仁史氏 演題「組踊300年ー琉球王府の組踊ー」	講師 茂木仁史

2	9月23日	定例研修会（国立劇場おきなわ中稽古室） 御前風（5節） 昔節・大昔節より： 暁節 昔蝶節 上中巻より：くにや節 湊原節 阪本節 あがさ節	研修指導 保持者
3	10月28日	定例研修会：真玉橋公民館2F 御前風（5節） 昔節・大昔節より： ちゃんな節 十七八節 上中巻より： 伊江節 本部長節 大田名節 昔田名節	研修指導 保持者
4	11月25日	定例研修会：真玉橋公民館2F 御前風（5節） 昔節・大昔節より： 諸鈍節 今風節 上中巻より： 東細節 永良部節 昔嘉手久節 久米阿嘉節	研修指導 保持者
5	平成31年 1月27日	定例研修会：国立劇場おきなわ大稽古室 御前風（5節） 平成30年度 師範・教師課題曲 茶屋節（赤田風節） 諸鈍節（仲風節）	研修指導 保持者
6	2月24日	定例研修会：真玉橋公民館1F 御前風（5節） 平成30年度 師範・教師課題曲 茶屋節（赤田風節） 諸鈍節（仲風節）	研修指導 保持者
7	3月24日	定例研修会：真玉橋公民館1F 御前風（5節） 平成30年度 研修演目おさらい	研修指導 保持者

⑨県指定無形文化財「沖縄伝統音楽箏曲」伝承者養成事業

事業総額：400千円（県100千円、保存会300千円）

実施方法：県補助による沖縄伝統音楽箏曲保存会直営事業（会長：赤嶺弘子）

事業内容：保持者の指導により研修会を実施した。

事業期間：平成30年7月1日～平成31年3月31日

- (1) 研修会：第1回 平成30年7月28日（土） 85名参加
第2回 平成30年10月13日（土） 80名参加
第3回 平成31年2月9日（土） 95名参加

場 所：国立劇場おきなわ 大稽古室

指導者：赤嶺弘子 山内好子 米須好子 仲宗根巴津美 山内照子

(2) 芸 能（組踊等普及啓発事業）

①組踊特別鑑賞会（全国公演）・・・国庫補助事業

事業総額：27,857千円（国27,753千円、県33千円、保存会71千円）

趣 旨：全国各地で重要無形文化財「組踊」を鑑賞する機会を設け、その一層の普及・伝承を図り、併せて開催地の芸術文化活動、文化財保護活動に資するため、本特別鑑賞会を開催する。

普及公演：組踊を広く一般に周知するため、全国6カ所で公開した。

事業主体：一般社団法人 伝統組踊保存会

実施方法：国・県補助による保存会直営事業

事業期間：平成30年4月2日～平成31年3月31日

事業内容：組踊1題、琉球舞踊4題を上演し、組踊の概要等を比嘉均、山内久江、石嶺若子（県教育庁文化財課指導主事）が解説した。字幕を投影し、演目解説書を観客に配布した。

開催地、開催日時及びプログラムは次のとおりである。

- 1 鳥取県三朝町「三朝町総合文化センター」・・・平成30年7月15日（日）午後2時開演

主 催／一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会

共 催／三朝町 三朝町教育委員会

第1部：琉球舞踊「老人老女」嘉手苺林一・金城清一

「若衆こてい節」名嘉正光・新垣悟

「下り口説」安次嶺浩和 「天川」東江裕吉

第2部：組踊「執心鐘入」 立方責任者（嘉手苺林一）・地謡責任者（前川朝文）

配役：宿の女（東江裕吉） 中城若松（新垣悟） 座主（嘉手苺林一）

小僧1（安次嶺浩和） 小僧2（糸満盛幸） 小僧3（名嘉正光）

黒子（比嘉大志）

地謡：歌・三線（前川朝文、中村一雄、玉城利和、又吉恭平）

箏（上原妙子） 笛（嘉数世勲） 胡弓（新城清弘） 太鼓（比嘉聰）

- 2 宮崎県日南市「南郷ハートフルセンター」・・・平成30年8月5日（日）午後2時開演

主 催／一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会

共 催／日南市 日南市教育委員会

第1部：琉球舞踊「老人老女」儀保政彦・前當正雄

「若衆こてい節」知花令麿

「下り口説」金城陽一 「天川」名嘉正光

第2部：組踊「花売の縁」立方責任者（眞境名正憲）・地謡責任者（西江喜春）

配役：森川の子（親泊久玄） 乙樽（名嘉正光） 鶴松（石垣正城） 猿引（金城陽一）

猿（島袋廉士） 薪取（眞境名正憲） 黒子1（前當正雄） 黒子2（知花令麿）

地謡：歌・三線（西江喜春、照喜名進、上地正隆、花城英樹）

箏（宮城秀子） 笛（宇保英明） 胡弓（運天伊作） 太鼓（宇座喜憲）

3 熊本県水俣市「水俣市文化会館」・・・平成30年9月8日（土）午後2時開演

主 催／一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会 水俣市 水俣市教育委員会

後 援／水俣市文化協会

第1部：琉球舞踊「老人老女」山入端實・岸本剛

「若衆こてい節」親泊久玄・宮城茂雄

「下り口説」當山力・仲村圭央 「天川」眞境名律弘

第2部：組踊「護佐丸敵討」立方責任者（親泊興照）・地謡責任者（山城暁）

配役：あまおへ（親泊興照） 鶴松（親泊久玄） 亀千代（宮城茂雄）

母（眞境名律弘） 供1（山入端實） 供2（岸本剛） 供3（當山力）

きやうちやこ持（仲村圭央）

地謡：歌・三線（山城暁、城間盛久、宮原弘和、稲嶺盛律）

箏（赤嶺和子） 笛（大湾清之） 胡弓（稲嶺一夫） 太鼓（喜舎場盛勝）

4 愛知県常滑市「常滑市文化会館」・・・平成30年12月1日（土）午後2時開演

主 催／一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会 常滑市 常滑市教育委員会

協 力／常滑市文化協会 ㈱ケイミックスパブリックビジネス

後 援／中日新聞社

第1部：琉球舞踊「老人老女」嘉手苺林一・新垣悟

「若衆こてい節」親泊久玄

「下り口説」平田智之・石川直也 「天川」前當正雄

第2部：組踊「護佐丸敵討」立方責任者（嘉手苺林一）・地謡責任者（島袋英治）

配役：あまおへ（宇座仁一） 鶴松（親泊久玄） 亀千代（新垣悟）

母（前當正雄） 供1（石川直也） 供2（平田智之） 供3（嘉手苺林一）

きやうちやこ持（山入端實）

地謡：歌・三線（島袋英治、新地孝一、長浜眞勇、喜納吏一）

箏（山内照子） 笛（知念久光） 胡弓（崎原盛勇） 太鼓（横目大通）

5 栃木県日光市「日光市今市文化会館」・・・平成30年12月16日（日）午後2時開演

主 催／一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会 日光市 日光市教育委員会

共 催／一般財団法人日光市公共施設振興公社

後 援／日光市文化協会 下野新聞社

第1部：琉球舞踊「老人老女」儀保政彦・大城常政

「若衆こてい節」糸満盛幸・岸本剛

「下り口説」當山力 「天川」眞境名律弘

第2部：組踊「万歳敵討」立方責任者（島袋光尋）・地謡責任者（比嘉康）

配役：高平良御鎖（島袋光尋） 高平良の妻（眞境名律弘） 高平良の娘（糸満盛幸）

謝名の子（嘉数道彦） 慶雲（池間隼人） 列女1（仲村圭央）

列女2（岸本剛） 御鎖供1（儀保政彦） 御鎖供2（大城常政）

通行人（金城清一） きやうちやこ持（當山力）

地謡：歌・三線（比嘉康、糸数昌治、仲宗根盛次、池原憲彦）

箏（大城幸枝） 笛（宮城英夫） 胡弓（祖堅信義） 太鼓（金城睦昭）

②児童生徒の組踊等沖縄伝統芸能鑑賞会・・・県単独事業

事業総額：3,103千円（執行済額3,103千円）

趣 旨：児童生徒に郷土芸能への理解と関心を深めさせ、組踊等沖縄伝統芸能の県内への普及啓発を図るとともに、若手実演家の活動機会を増やすことによって、後継者の育成を図る。

実施方法：沖縄県教育委員会が、一般社団法人伝統組踊保存会に事業委託

事業内容：上演演目：組踊（執心鐘入）あるいは沖縄芝居及び沖縄伝統芸能（琉球舞踊）

解 説：演目解説書を児童生徒全員に配布し、演目概要等の紹介
ワークショップ（WS）：希望する学校にて実施

実演団体：一般社団法人 伝統組踊保存会
鑑賞校、開催日時、出演者は次のとおり

- ア 鑑賞校（鑑賞人数）：豊見城南高等学校（422人）
日 時：平成30年10月18日（木） 午後2時開演
会 場：豊見城中央公民館
解説及びワークショップ：新里春加
第1部：琉球舞踊
「老人老女」金城清一・安次嶺浩和 「若衆ゼイ」池間隼人 宮里光也
「下い口説」東江裕吉 「天川」海勢頭あける
第2部：組踊「執心鐘入」「立ち方指導」金城清一 「地謡指導」糸数昌治
解 説：山城 暁
配 役：若松（新垣 悟）、宿の女（大湾三瑠）、座主（平田智之）、
小僧1（糸満盛幸）、小僧2（伊藝武士）、
小僧3（前當正雄）、後見（山城亜矢乃）
地 謡：歌・三線（糸数昌治、金城光信、崎濱秀光）、箏（上地律子）、
笛（崎原盛次）、胡弓（比嘉 清）、太鼓（与那覇 徹）
- イ 鑑賞校（鑑賞人数）：那覇市立石田中学校（472人）
日 時：平成30年10月18日（木） 午後2時開演
会 場：那覇市立石田中学校体育館
解 説：伊良波さゆり
第1部：琉球舞踊「老人老女」石川直也・大城常政 「若衆ぜい」伊藝武士
「前の浜」上原崇弘 「かせかけ」天願雄一
第2部：沖縄芝居①「割符」「芝居指導」（池宮城実人） 「地謡指導」上間宏敏
配役：アヤー（石川直也）、ウトゥミ（伊良波さゆり）、真鍋戸（大城常政）
真嘉戸（大城常政）、若按司（上原崇弘）、高志保（高宮城実人）
目差志保（伊藝武士）、神（金城真次）、黒子（新里春加）
地謡：歌・三線（仲村逸夫、棚原健太）、箏（名護みのり）、笛（真地利尚）
太鼓（宮里和希）
【W S】 日 時：平成30年10月16日（火）15:00～15:50（石田中3年生）
場 所：石田中学校体育館 受講人数：51人
- ウ 鑑賞校（鑑賞人数）：名護市立真喜屋小学校、名護市立屋我地ひるぎ学園、
名護商工高等学校（計664人）
日 時：平成30年11月7日（水） 午後2時開演
会 場：名護市民会館
解説及びワークショップ：知花小百合
第1部：琉球舞踊「老人老女」親泊興照・親泊久玄
「若衆こてい節」玉城匠・伊藝武士 「下り口説」當山力
「天川」金城真次
第2部：組踊「執心鐘入り」「立ち方指導」親泊興照 「地謡指導」勝連繁雄
配役：若松（金城真次）、宿の女（親泊久玄）、座主（前當正雄）、
小僧1（當山力）、小僧2（玉城匠）、小僧3（伊藝武士）、
後見（廣山えりか）
地謡：歌・三線（勝連繁雄・田港朝弘・宮原弘和）、箏（比嘉淳江）、
笛（仲田治巳）、胡弓（石川清二）、太鼓（神山常夫）
【W S】 日 時：平成30年11月2日（金）11:30～12:25（真喜屋小低学年）
場 所：真喜屋小学校体育館 受講人数：51人

③組踊等教育普及事業・・・沖縄県特別推進交付金事業

事業総額：14,768千円（執行済額14,768千円 うち交付金充当額11,814千円）

趣 旨：日常生活において、組踊等沖縄の無形文化財（芸能）を鑑賞する機会の少ない児童・生徒に対し、これを公演し観賞させることによって、郷土の無形文化財（芸能）への理解と関心を深めさせ、これを保存継承する社会的基盤の形成を図る。

実施方法：沖縄県教育委員会が、平成30年度「組踊等教育普及事業」共同事業体に事業委託

実演団体：平成30年度「組踊等教育普及事業」共同事業体

代表者：一般社団法人 オキナワステージプラン

構成員：沖縄伝統組踊「子の会」

事業内容：上演演目：組踊（執心鐘入）及び沖縄伝統芸能（琉球舞踊）

解説：演目解説書を児童生徒全員に配布し、演目概要等の紹介

ワークショップ（WS）：日程調整ができた学校にて実施

鑑賞校、開催日時、出演者は次のとおり

- ア 鑑賞校 伊是名村立伊是名小学校、伊是名村伊是名中学校
【鑑賞会】 日 時：平成30年8月31日（金）9:30～11:00
場 所：伊是名村産業支援センター大ホール
鑑賞人数：97人
配 役：若松（上原信次）、宿の女（金城真次）、座主（川満香多）
小僧1（比嘉大志）、小僧2（知花令磨）、小僧3（新垣 悟）
後見・解説（玉城 匠）
地 謡：歌・三線（新垣俊道・仲村逸夫・喜納吏一）、箏（宮洲啓介）
笛（大城建太郎）、胡弓（玉城和樹）、太鼓（久志大樹）
【W S】 日 時：平成30年8月30日（木）13:55～14:40（伊是名小低学年）
14:50～15:35（伊是名小高学年）
場 所：伊是名小学校体育館 受講人数：78人
- イ 鑑賞校 沖縄県立八重山農林高等学校、沖縄県立八重山商工高等学校
【鑑賞会】 日 時：平成30年10月25日（木）10:00～11:30
場 所：石垣市民会館
鑑賞人数：568人
配 役：若松（山城峻弥）、宿の女（知念令磨）、座主（石川直也）
小僧1（島袋浩大）、小僧2（宮城昭博）、小僧3（新垣悟）
後見・解説（川満香多）
地 謡：歌・三線（玉城和樹・大城貴幸・棚原健太）、箏（池間北斗）
笛（入嵩西諭）、胡弓（新垣俊道）、太鼓（久志大樹）
- ウ 鑑賞校 沖縄県立八重山高等学校
【鑑賞会】 日 時：平成30年10月25日（木）14:00～15:30
場 所：石垣市民会館
鑑賞人数：646人
配 役：若松（山城峻弥）、宿の女（知念令磨）、座主（石川直也）
小僧1（島袋浩大）、小僧2（宮城昭博）、小僧3（新垣悟）
後見・解説（川満香多）
地 謡：歌・三線（玉城和樹・大城貴幸・棚原健太）、箏（池間北斗）
笛（入嵩西諭）、胡弓（新垣俊道）、太鼓（久志大樹）
- エ 鑑賞校 竹富町立波照間小中学校
【鑑賞会】 日 時：平成30年10月26日（金）13:45～15:15
場 所：竹富町立波照間小中学校
鑑賞人数：46人
配 役：若松（山城峻弥）、宿の女（知念令磨）、座主（石川直也）
小僧1（島袋浩大）、小僧2（新垣悟）、小僧3（金城真次）
後見・解説（比嘉大志）
地 謡：歌・三線（玉城和樹・大城貴幸・仲嶺良盛）、箏（池間北斗）
笛（入嵩西諭）、胡弓（新垣俊道）、太鼓（久志大樹）
- オ 鑑賞校 南城市立久高小中学校
【鑑賞会】 日 時：平成30年11月21日（水）13:30～15:00
場 所：南城市立久高小中学校体育館
鑑賞人数：21人
配 役：若松（金城真次）、宿の女（佐辺良和）、座主（上原崇弘）
小僧1（比嘉大志）、小僧2（伊藝武士）、小僧3（山城峻弥）
後見・解説（川満香多）
地 謡：歌・三線（大城貴幸・仲尾勝成・佐久田朝太）、箏（池間北斗）
笛（大城建太郎）、胡弓（玉城和樹）、太鼓（久志大樹）
- カ 鑑賞校 与那国町立与那国小学校・与那国中学校・久部良小学校・
久部良中学校・比川小学校

【鑑賞会】	日 時：平成31年1月31日（木）10:00～11:30
	場 所：与那国小学校体育館
	鑑賞人数：150人
	配 役：若松（山城峻弥）、宿の女（金城真次）、座主（川満香多） 小僧1（上原崇弘）、小僧2（知花令磨）、小僧3（新垣悟） 後見・解説（玉城匠）
	地 謡：歌・三線（玉城和樹・喜納吏一・大城貴幸）、箏（池間北斗） 笛（大城建太郎）、胡弓（新垣俊道）、太鼓（久志大樹）
【W S】	日 時：平成31年1月30日（水）10:35～11:20（与那国小低学年） 11:25～12:10（与那国小高学年）
	場 所：与那国小学校体育館 受講人数：76人
【W S】	日 時：平成31年1月30日（水）13:50～14:40（与那国中1学年）
	場 所：与那国中学校体育館 受講人数：10人

(3) 工芸技術

①重要無形文化財の伝承者養成事業

ア) 重要無形文化財「喜如嘉の芭蕉布」伝承者養成事業

事業総額：7,588千円（国 7,000千円、県 151千円、村 436千円、保存会1千円）

実施方法：国・県・大宜味村補助による保存会直営事業

事業主体：喜如嘉の芭蕉布保存会（会長：平良敏子）

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

①技能保持者7人、修了生4名で、平成28年度までの受講生7名と新人1名を対象に個々人の熟練度に応じた技術指導を実施した。本年度行った技術は以下の通り。

1) 芯止め・葉打ち、2) 苧倒し・苧引き・苧炊き、3) 拵結び、4) 染色、
5) 撚り掛け、6) 整経、7) 製織、8) 畑清掃

講 師：平良敏子、平良美恵子、平良京子、宮城糸美、山城幸枝、翁長洋子、宮城涼子

伝 承 者：金城明恵、平良清美、神谷美香、吉田木綿、座間味ゆり香、金城直美、加藤泉、山城薫

事業期間：平成30年6月11日～平成31年3月22日

場 所：大宜味村立芭蕉布会館

(2) 資料収集整理事業

古芭蕉布の購入をおこなった。

(3) 視察研修

①南魚沼市：原材料の入手現状について調査を実施した。

①輪島市：「第27回重要無形文化財保持団体秀作展」で視察研修を行った。

(4) 原材料・用具の整備事業

良質の糸芭蕉を確保するため、芭蕉畑除草の委託を行った。

(5) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

イ) 重要無形文化財「宮古上布」伝承者養成事業

事業総額：8,535千円（国 8,000千円、県 170千円、市 251千円、保持団体 114千円）

実施方法：国・県・宮古島市補助による保持団体直営事業

事業主体：宮古上布保持団体（代表者：新里玲子）

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

①本年度は、図案・手括り（講師1名、伝承者2名）、染色（講師1名、伝承者2名）、織り（講師2名、伝承者4名）、洗濯・砧打ち（講師1名・研修生1名）の4部門において実施した。

講 師：下地達雄（図案・手括り）、平良清子（染色）、上原則子（織り）、
豊見山カツ子（織り）、奥原義盛（洗濯・砧打ち）

伝 承 者：松堂初美、石嶺明美、羽地真理子、下里愛子、島袋恵、長濱充代
荷川取ひろみ

事業期間：平成30年4月2日～平成31年3月26日

場 所：指導者自宅工房及び研修生自宅

②全重協秀作展（宮古島市）を実施し特別研修を行った。

③関連技術見学研修（奄美市）を実施した。

④専門的な技術教本の製作をおこなった。

(2) 資料の収集整理

宮古上布を資料として購入した。

(3) 原材料・用具の確保

緋小分け機、泥藍作業用品の購入。

(4) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

ウ) 重要無形文化財「久米島紬」伝承者養成事業

事業総額：8,226千円（国8,000千円、県164千円、町54千円、保持団体8千円）

実施方法：国・県・久米島町補助による保持団体直営事業

事業主体：久米島紬保持団体（代表者：桃原 稔子）

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

①養蚕、絹糸作り、真綿作り、糸つむぎ、製織の伝承者養成講座を実施した。

②養蚕は、4名の講師で伝承者10名に桑の葉の取り方から上族まで毎日2～3回の桑の葉の与え方や、上族の時期等の講習を行った。

③織りは、4名の講師で行った。絹糸作り、糸つむぎ、真綿作りは、4名の講師でケンネル（座繰り機）を用いた糸作り、作った真綿からの糸引き、撚糸機による寄りのかけ方等の講習を行った。

講 師：イ) えさやり・掃除：①我那覇ケイ子、②桃原 子、③宮平トシ子、④幸地綾子、⑤高坂エミ子、⑥山城宗太郎

ロ) え さ 管 理：①我那覇ケイ子、②桃原 子、③宮平トシ子、④山城宗太郎、⑤高坂エミ子

ハ) 上 ゾ く：①我那覇ケイ子、②桃原 子、③宮平トシ子、④幸地綾子、⑤高坂エミ子

ニ) 繭取・糸作り：①我那覇ケイ子、②桃原 子、③宮平トシ子、④幸地綾子、

⑤高坂エミ子

ホ) 組 み 立 て：①山城宗太郎

ヘ) 図 案：①桃原 子

ト) 染 色：①我那覇ケイ子、②桃原 子、③宮平トシ子、④幸地綾子、⑤高坂エミ子、⑥山城宗太郎、⑦新垣勝秀、⑧宇江城ヤス子

伝 承 者：①平田とき子、②山城智子、③古堅ヨシエ、④神里智江、⑤島袋佐枝、

⑥儀間勝枝、⑦佐久田康子、⑧仲地洋子、⑨毛利玲子

事業期間：平成30年4月2日～平成31年3月29日

場 所：久米島紬の里ユイマール館

(2) 原材料・用具の確保

養蚕に必要な桑畑の管理委託を行った。

(3) その他

①文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

エ) 選定保存技術「苧麻糸手績み」伝承者養成事業

事業総額：10,280千円（国10,000千円、県133千円、保存会147千円）

実施方法：国・県補助による保存会直営事業

事業主体：宮古苧麻糸手績み保存会（会長代行：久貝 偉久恵）

事業期間：30年4月1日～31年3月29日

場 所：宮古島市、多良間村の各講師宅又は公民館

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

①宮古上布の原料となる苧麻の収穫から、整経までの5工程を16教室（平良8、下地3、上野2、城辺1、伊良部1、多良間1）において講師1名、研修生3～8名で実施した研修の内容は以下の通りである。

- 1) 苧麻刈り取り、2) 苧麻引き、3) 苧麻績み、4) 撚りかけ、5) かし掛け
- ②見学研修として、文化庁主催の日本の技体験フェアと宮古地区多良間村でのコミュニティまつりに参加し、見学研修を行った。
- ③初級講習終了後も参加できるぶーんみ講座を1ヶ所（上野）を開講し、継続的に記述を向上できる環境を整えた。

(2) 研修発表事業

- ①宮古地区多良間村でのコミュニティまつりにて村内の研修生の研修発表を行った。
- ②全教場の研修生の研修成果発表会として苧麻糸展示会を開催した。

(3) 記録の作成及び刊行事業

最種調査用の苧麻の生育状況・繊維裂き・糸績みでの比較調査を行い記録した。

オ) 選定保存技術「手機製作」技術錬磨及び伝承者養成事業

事業総額：1,287千円（国1,106千円、保持者181千円）

実施方法：国・県補助による保持者直営事業

事業主体：大城義政（保持者）

事業内容：手機製作は、手織り用の木製の機（織機）を製作する技術であり、染織品の工芸技術を支える重要な用具製作技術である。長期間乾燥させた木材を使用し、各部材を製材・整形し、組み立てる。この一連の工程には、木材に関する深い知識・加工技術が必要であり、さらに織機の構造・機能、手機（織物）技術に対する理解と知識が要求される。本年度は、手機製作にかかる全工程を伝承者1名に伝授した。

伝承者：大城伸悟

事業期間：平成30年4月15日～平成31年3月15日

場所：大城織機製作所

②沖縄県指定無形文化財の伝承者養成事業

ア) 県指定無形文化財「びん型」伝承者養成事業

事業総額：426千円（県320千円、保存会106千円）

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：沖縄伝統びん型保存会（代表：城間榮順）

事業内容：本年度は、古びん型から学ぶことをテーマに、型紙を使用して染めるびん型を伝統技法に基づきながら、創作柄の帯を染めた。

- ① 開講式(保持者とその伝承者が参加して、事業の趣旨を十分に理解する)
- ② 古典柄を参考に下絵を作成する。
- ③ 染地型紙・白地型紙を彫るか、もしくは糊袋を作る。
- ④ 彫った型紙を使用して型を置き、もしくは筒描きで模様を描き、色差しをした後、模様を糊で伏せ(ピンウシー)地染めを行う。
- ⑤ 閉講式(作品の講評等)

講師：城間榮順、知念績元

伝承者：城間榮市、大城はるか、知念績人

事業期間：平成31年1月4日～平成31年3月29日

場所：各保持者工房

イ) 県指定無形文化財「本場首里の織物」伝承者養成事業

事業総額：351千円（県259千円、保存会92千円）

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：沖縄伝統本場首里織物保存会（代表：祝嶺恭子）

事業内容：「ムルドウッチリ」の全工程（製図から製織まで）の技術指導を実施した。各工程については次のとおりである。

- (1)資料研究(2)意匠設計(3)糸精錬(4)経糸糊付け(5)耕糸繰返(6)拵整経
- (7)糊付け張り伸ばし(8)マシン(9)経拵括り(10)拵経糸染色(11)経拵解き
- (12)地糸繰り返し(13)地糸整経(14)拵配列張り伸ばし(15)仮筈通し(16)経巻き
- (17)綜統通し(18)筈通し(19)織り付け(20)緯拵小認め(21)緯拵括り
- (22)緯拵緯糸染色(23)緯拵解き(24)緯糸小管巻き(25)製織(26)整理仕上げ

講師：祝嶺恭子、多和田淑子、ルバース・ミヤヒラ吟子

伝承者：喜屋武こずえ、野里愛子、眞喜志由香、今帰仁桃子、山城麻希子
事業期間：平成30年8月1日～平成30年9月28日
場所：各保持者工房

ウ) 県指定無形文化財「読谷山花織」伝承者養成事業

事業総額：448千円（県 336千円、保存会 112千円）
実施方法：県補助による保存会直営事業
事業主体：読谷山花織保存会（代表：池原ケイ子）
事業内容：染色した糸を用い、製織(着尺)を指導した。
講師：池原ケイ子
伝承者：山田恵利子
事業期間：平成30年12月3日～平成31年3月29日
場所：各保持者工房

エ) 県指定無形文化財「八重山上布」伝承者養成事業

事業総額：426千円（県 320千円、市 60千円、保存会 46千円）
実施方法：県・市補助による保存会直営事業
事業主体：八重山上布保存会（代表：新垣幸子）
事業内容：今年度は、3か所の工房で補助事業を実施した。中村澄子の工房では、捺染による着尺の指導を行った。講師の技を受講生の経験に応じて技術指導した。新垣幸子の工房では、帯の3倍の長さを要する着尺に取り組んだ。図案作成にも力を入れ、経緯緋の複雑な組み合わせや、色の重なり的美しさ等を指導した。色緋の多さ等から緋括り(地括り)、藍仕込み、染色等の日程に時間がかかり、今年度は試織までを日程とした。松竹喜生子の工房では、手績みの太緯糸を使用して、糸を藍に染め、緋模様の帯地製作を指導した。なお、新垣・松竹の両工房では、苧麻の刈り取りから、苧引き、苧績みに取り組み、さらに八重山藍の栽培、色素取出しの他、紅花の染色法で講習会を開催した。
講師：中村澄子、新垣幸子、糸数江美子、平良蓉子、松竹喜生子
伝承者：中村雪江、崎原克友、松竹未来
事業期間：平成30年9月1日～平成31年1月31日
場所：各保持者工房

オ) 県指定無形文化財「琉球漆器」伝承者養成事業

事業総額：144千円（県108千円、保存会36千円）
実施方法：県補助による保存会直営事業
事業主体：琉球漆器保存会（代表：前田孝允）
事業内容：講師2人で昨年度から継続の各伝承者（沈金2人、箔絵・螺鈿1人）に技術・技法と同時に琉球漆器の歴史、特性等を教授した。各工程は以下の通りである。
1) デザイン、2) 沈金彫り／螺鈿切り、3) 沈金摺漆／螺鈿貝貼り、4) 沈金仕上げ／螺鈿貝塗り（数回繰り返す）、
5) 螺鈿仕上げ／箔絵描き、6) 金箔貼りで仕上げ
講師：前田孝允
伝承者：前田栄
事業期間：平成31年1月7日～平成31年3月26日
場所：各保持者工房

3. 民俗文化財

(1) 民俗文化財

① 沖縄の行事食に関する総合調査事業

事業総額：3,261,530円（国2,609,000円、県652,530円）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：沖縄県教育委員会

事業期間：平成30年4月1日から平成31年3月31日

事業目的：沖縄県の行事食は、先祖崇拝や民間信仰といった沖縄の基層文化と深く結びついており、その食材、調理法や用具、祭祀における取扱等の習俗について地域的な特色が見られる。本調査事業は、沖縄の行事食の実態の把握と各地域の状態、文化財的価値などを明らかにするために、全県的、民俗学的総合調査を実施し、民俗文化財の保護・活用と文化財保護施策推進に資する基礎資料を作成することを目的とする。

実施場所：県内全域（沖縄本島、本島周辺離島、宮古諸島、八重山諸島）

事業概要：調査地を、沖縄本島北部・中部・南部及び周辺離島、宮古諸島、八重山諸島に区分し、文化財調査員及び調査協力員が行事食に関する総合調査を行った。

調査委員：赤嶺 政信（琉球大学人文社会学部琉球アジア文化学科教授）

萩原 左人（琉球大学地域創造学部教授）

本永 清（県文化財保護審議会審議委員）

波平 エリ子（沖縄女子短期大学総合ビジネス学科准教授）

阿利 よし乃（沖縄国際大学非常勤講師）

大城 博美（沖縄国際大学非常勤講師）

井口 学（GREEN EARTH）

萩尾 俊章（沖縄県立博物館・美術館主任学芸員）

調査協力員：11名

② 第60回九州地区民俗芸能大会

事業総額：925,500円（県462,000円 団体463,500円）

事業種別：県単独補助事業

事業主体：前川区伝統芸能保存会（南城市）

大会名称：第60回九州地区民俗芸能大会

開催期日：平成30年10月8日（月・祝）

開催場所：佐賀市文化会館 中ホール（佐賀県佐賀市）

派遣芸能：前川区の伝統芸能「アヤグ」は、宮古島のアヤグ節の歌詞に農村青年の勇姿を振り付けした踊りで、琉球王国時代末期の1872年（明治六年尚泰王十七年）に、当時首里の御殿つとめをしていた前川村の赤嶺治八翁^{あかみねじはち}によって創作された。夕暮れ時、農作業からの帰る若者たちが広場などに集まって腕比べや力試しを行っている勇姿を舞踊化したものだと言われている。若者の力強さと団結力を表現したアヤグは、「村の発展は共同の力が第一」という教を今に伝えてきた。また、アヤグは、地域の年中行事での奉納やイベントで演じられるだけではなく、地域の若者の結婚式には皆でアヤグを踊ってお祝いするほど定番の演目となっており、地域に根ざした芸能である。平成5年には、南城市無形民俗文化財として指定された。

出演演目：

	芸 能 名	出演団体
1	ありかわじゅうしちにちまつ 有川十七日祭り	有川まつり振興会（長崎県）
2	おきのはたすいてんぐうふなぶたいはやし 沖端水天宮舟舞台囃子	沖端水天宮舟舞台囃子保存会（福岡県）
3	さいあんじかぐら 西安寺神楽	西安寺神楽保存会（熊本県）
4	たかおどり 鷹踊	鷹踊保存会（鹿児島県）
5	こぶなついつせいぶりゆう 小舟津一声浮立	小舟津区浮立保存会（佐賀県）
6	おはえかぐら 尾八重神楽	尾八重神楽保存会（宮崎県）
7	さんろおど 山路踊り	玖珠町山路踊り保存会（大分県）
8	アヤグ	前川区伝統芸能保存会（沖縄県）
9	みえ ししまい 三重の獅子舞	諸富町無形文化財保存会（佐賀県）

※ 九州各県から1団体、開催地熊本県は2団体



「アヤグ」（前川区伝統芸能保存会）
第60回九州地区民俗芸能大会 本公演より



4. 記念物

(1) 史跡・名勝・文化的景観

本県における国指定の史跡・名勝（特別名勝、国の登録記念物を含む）及び国選定の文化的景観、県指定の史跡・名勝の件数は合計124件（令和元年5月1日現在）である。平成30年10月15日には北大東島燐鉱山由来の文化的景観が、県内で初めて国の重要文化的景観に選定された。今後も貴重な文化財の適切な保護と保存、活用を図るために、指定文化財の件数を増やしていく必要がある。

史跡・名勝等の復元整備等については、現在、国・県の指定文化財を中心に進めている。平成30年度は国指定史跡の「勝連城跡」、「今帰仁城跡附シイナ城跡」、「フルスト原遺跡」、「中城城跡」、「具志川城跡」（久米島町）、「浦添城跡」、「知念城跡」、「内間御殿」、「糸数城跡」、「円覚寺跡」、「中城城跡」（災害復旧）、「今帰仁城跡附シイナ城跡」（災害復旧）、及び特別名勝「識名園」及び名勝「伊江殿内庭園」において歴史活き活き史跡等総合整備活用整備事業を実施した。また、史跡等買上事業（直接買上）では、国指定史跡の「勝連城跡」、「大和井」、「中頭方西海道及び普天満参詣道」、「中城ハンタ道」、「佐敷城跡」にて実施し、国指定名勝「伊江御殿別邸庭園」、国指定史跡「伊礼原遺跡」については買上事業の先行取得償還を実施した。国指定史跡の「北大東島燐鉱山遺跡」、「糸数城跡」、「座喜味城跡」、「具志川城跡」（久米島町）、及び国指定名勝の「川平湾及び於茂登岳」において史跡等保存活用計画策定事業をそれぞれ実施した。県指定史跡・名勝「首里金城町石畳道」において首里金城町石畳道保存修理事業を、県指定史跡「ミントングスク」において県指定文化財管理事業を実施した。

①受託事業

発掘調査事業

- ・「首里城跡」発掘調査業務

内閣府沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所の公園整備事業に伴うもので、平成29年度に首里城地区発掘関連資料整理及び報告書作成業務をおこない、発掘調査事業をいったんは完了したが、美福門磴道付近で遺構が確認されたため発掘調査を行った。

事業主体：沖縄県

事業費：1,083,000円

②国庫補助事業

ア) 史跡等保存活用計画策定事業

- a) 事業名：史跡「北大東島燐鉱山遺跡」史跡等保存活用計画策定事業

事業主体：北大東村

事業経費：6,667,020円（国4,284,000円、県91,000円、村2,292,020円）

事業内容：○報告書を作成した。

◇燐鉱山遺跡保存活用計画策定委員会

1)平成30年5月13日（北大東村役場2階会議室）

2)平成30年8月28日（国建会議室）

3)平成30年12月13日（国建会議室）

4)平成31年3月6日（国建会議室）

- b) 事業名：史跡「糸数城跡」史跡等保存活用計画策定事業

事業主体：南城市

事業経費：1,824,999円（国1,459,000円、県31,000円、市334,999円）

事業内容：○中間報告を作成した。

◇糸数城跡保存活用計画策定委員会

1)平成30年10月22日（南城市役所）

2)平成31年3月19日（南城市役所）

- c) 事業名：史跡「座喜味城跡」史跡等保存活用計画策定事業
事業主体：読谷村
事業経費：1,834,080円（国1,467,000円、県31,000円、村336,080円）
事業内容：○中間報告を作成した。

◇座喜味城跡保存活用計画策定委員会

- 1)平成30年12月25日（読谷村教育委員会）
- 2)平成31年3月9日（読谷村教育委員会）

- d) 事業名：史跡「具志川城跡」史跡等保存活用計画策定事業
事業主体：久米島町
事業経費：2,138,836円（国1,711,000円、県36,000円、市391,836円）
事業内容：○中間報告を作成した。

◇具志川城跡保存活用計画策定委員会

- 1)平成30年12月28日（国建事務所）
- 2)平成31年2月28日（久米島町教育委員会）

イ) 歴史活き活き史跡等総合活用整備事業

- a) 事業名：史跡「勝連城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
事業主体：うるま市
事業経費：15,886,201円（国12,708,000円、県338,000円、市2,840,201円）
事業内容：○南風原御門付近の遺構調査を実施した。

○西原御門付近の整備、石畳道の舗装工事等に係る実施設計を委託により実施した。

◇勝連城跡整備委員会

- 1)平成31年2月4日（うるま市役所・史跡「勝連城跡」）
- 2)平成31年2月18日（うるま市役所・史跡「勝連城跡」）
- 3)平成31年3月18日（うるま市役所・史跡「勝連城跡」）

- b) 事業名：史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
事業主体：今帰仁村
事業経費：37,344,737円（国29,872,000円、県798,000円、村6,674,737円）
事業内容：○志慶真門郭階段設置工事を請負で、基本設計及び施工監理は委託により実施した。

○保存修理事業の成果公開のための整理作業を実施した。

◇今帰仁城附シイナ城跡整備委員会

- 1)平成30年7月26日（今帰仁村歴史文化センター・史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」）
- 2)平成31年3月27日（今帰仁村歴史文化センター・史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」）

- c) 事業名：史跡「フルスト原遺跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
事業主体：石垣市
事業経費：10,968,573円（国8,774,000円、県234,000円、市1,960,573円）
事業内容：○第4号及び5号石塁の石積測量と図化を実施した。

○出土資料のうち、陶磁器・土器・獣魚骨の整理を実施した。骨製品の実測、デジタル図化を委託により実施した。

- d) 事業名：史跡「中城城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
事業主体：中城村
事業経費：37,931,298円（国30,345,000円、県810,000円、村6,776,298円）
事業内容：○一の郭内の北側城壁内面沿いで遺構確認を目的に発掘調査を実施した。

○城壁解体中に下段石積の内部から発見された城壁等をレーザー及び写真測量を行った。

○一の郭北側城壁の上段石積と下段石積の一部の解体積み直しを行った。

◇中城城跡整備委員会

1)平成30年8月15日 (中城城跡2階会議室)

2)平成31年1月15日 (中城城跡2階会議室)

e) 事業名：史跡「具志川城跡(久米島町)」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：久米島町

事業経費：14,634,982円(国11,707,000円、県205,000円、町2,722,982円)

事業内容：○崩落した三の郭の石材を除去し、積み直しに備えて除去した石材を三の郭内に集石した。

○石積の積み直しに備えて場外に集積していた石を城内に移動した。

○城門前の会談以降の解説板を1基設置した。

◇具志川城跡整備委員会

1)平成30年10月24日 (久米島町博物館講堂・史跡「具志川城跡」)

2)平成31年2月27日 (久米島町博物館講堂・史跡「具志川城跡」)

f) 事業名：史跡「浦添城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：浦添市

事業経費：15,848,885円(国12,677,000円、県338,000円、市2,833,885円)

事業内容：○整備基本計画の改定を行った。

○城壁のレーザー測量及び図化を実施した。

◇浦添城跡整備委員会

1)平成30年12月26日 (浦添市役所、浦添城跡)

2)平成31年2月19日 (浦添市役所、浦添城跡)

g) 事業名：史跡「知念城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：南城市

事業経費：11,299,030円(国9,039,000円、県241,000円、市2,019,030円)

事業内容：○西側城壁の遺構確認調査を行った。

○西側城壁の解体積み直しを行った。

◇知念城跡整備委員会

1)平成30年12月4日 (南城市役所、知念城跡)

2)平成31年3月27日 (南城市役所、知念城跡)

h) 事業名：史跡「内間御殿」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：西原町

事業経費：9,695,534円(国7,756,000円、県208,000円、町1,731,534円)

事業内容：○東殿を囲う石垣の西側外壁沿い及び南東側外壁沿いで発掘調査を実施した。

◇内間御殿整備委員会

1)平成31年3月29日 (西原町立図書館・史跡「内間御殿」)

i) 事業名：特別名勝「識名園」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：那覇市

事業経費：4,201,200円(国3,360,000円、県90,000円、市751,200円)

事業内容：○指定地内の心字池周辺で膨らみのある石積の解体積み直し及び石住の膨らみの原因となる樹木の伐根を実施した。

j) 事業名：名勝「伊江殿内庭園」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：那覇市

事業経費：9,416,960円(国7,533,000円、県201,000円、市1,682,960円)

事業内容：○庭園の主庭部の陽刻文字の保存処置業務を実施した。

◇伊江殿内庭園現場検討会及び整備委員会

1)平成31年1月30日（首里公民館・名勝伊江殿内庭園）

2)平成31年3月25日（首里公民館・名勝伊江殿内庭園）

k) 事業名：史跡「北大東島燐鉱山遺跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：北大東村

事業経費：23,637,430円（国9,849,000円、県263,000円、村13,525,430円）

事業内容：○整備基本計画の中間報告書を作成した。

○燐鉱石貯蔵庫の南側壁のレーザー測量を実施した。

◇北大東島燐鉱山遺跡整備委員会

1)平成30年5月15日（北大東村役場・史跡「北大東島燐鉱山遺跡」）

2)平成30年8月28日（株式会社国建事務所会議室）

3)平成30年12月14日（株式会社国建事務所会議室）

4)平成31年3月6日（国建事務所会議室）

l) 事業名：史跡「糸数城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：南城市

事業経費：4,593,454円（国3,674,000円、県97,000円、市822,454円）

事業内容：○正面南側城壁石積の積み直しを行った。

◇糸数城跡整備委員会

1)平成30年9月27日（南城市役所・史跡「糸数城跡」）

2)平成30年11月20日（南城市役所会議室）

3)平成31年3月14日（南城市役所会議室）

m) 事業名：史跡「大山貝塚」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：宜野湾市

事業経費：5,724,000円（国4,579,000円、県121,000円、市1,024,000円）

事業内容：○指定地外の民有地にあった標識及び説明板を指定地内に移設した。

○史跡の境界標を設置した。

n) 事業名：史跡「円覚寺跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：沖縄県

事業経費：13,844,540円（国11,075,000円、県2,769,540円）

事業内容：○三門復元に向けて、業務委託により実施設計の作成を行った。

○三門周辺で土質調査（ボーリング調査）を実施した。

◇史跡「円覚寺跡」復元整備委員会

1)平成30年9月13・14日（株式会社国建9階会議室）

2)平成30年11月16・17日（株式会社国建9階会議室）

3)平成31年3月20日（株式会社国建9階会議室）

o) 事業名：史跡「中城城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業（災害復旧）

事業主体：中城村

事業経費：34,567,250円（国29,382,000円、県738,000円、村4,447,250円）

事業内容：○工事予定範囲で事前に発掘調査を実施した上で地滑り対策工事と工事の実施設計を行った。

p) 事業名：史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業（災害復旧）

事業主体：今帰仁村

事業経費：8,040,600円（国6,834,000円、県0円、村1,206,000円）

事業内容：○台風により志慶真門郭に崩れ落ちた崩落石の撤去及び石材の分別を実施した。

ウ) 史跡等の土地買上げ事業

- a) 事業名：史跡「勝連城跡」史跡等買上げ（直接買上げ）事業
事業主体：うるま市
事業経費：22,772,510円（国18,218,000円、県357,000円、市4,197,510円）
買上げ実績：2310.00㎡ 8筆
- b) 事業名：史跡「大和井」史跡等買上げ（直接買上げ）事業
事業主体：宮古島市
事業経費：4,831,960円（国3,865,000円、県75,000円、市891,960円）
買上げ実績：237.46㎡ 2筆
- c) 事業名：史跡「中城ハンタ道」史跡等買上げ（直接買上げ）事業
事業主体：中城村
事業経費：3,883,940円（国3,107,000円、県60,000円、市716,940円）
買上げ実績：325.00㎡ 3筆
- d) 事業名：史跡「佐敷城跡」史跡等買上げ（直接買上げ）事業
事業主体：南城市
事業経費：3,850,298円（国3,080,000円、県59,000円、市711,298円）
買上げ実績：736.00㎡ 2筆
- e) 事業名：史跡「中頭方西海道及び普天満参詣道」史跡等買上げ（直接買上げ）事業
事業主体：浦添市
事業経費：16,244,429円（国12,995,000円、県254,000円、市2,995,429円）
買上げ実績：488.05㎡ 1筆
- f) 事業名：名勝「伊江御殿別邸庭園」史跡等買上げ（先行取得償還）事業
事業主体：那覇市
事業経費：97,761,000円（国78,208,000円、県1,445,000円、市18,108,000円）
買上げ実績：平成23年度より10年間にわたり起債等による借入金を国・県の補助を得て年次計画で償還していく。
- g) 事業名：史跡「伊礼原遺跡」史跡等買上げ（先行取得償還）事業
事業主体：北谷町
事業経費：182,484,840円（国145,987,000円、県2,699,000円、町33,798,840円）
買上げ実績：平成23年度より10年間にわたり起債等による借入金を国・県の補助を得て年次計画で償還していく。

③県補助事業

ア) 史跡・名勝保存修理事業

- a) 事業名：県指定史跡・名勝「首里金城町石畳道」保存修理事業
事業主体：那覇市
事業経費：600,000円（県300,000円、市300,000円）
事業内容：○石畳道の所々に石の欠損や沈下が確認されており、通行に支障をきたしていたため補修を行った。
- b) 事業名：県指定史跡・名勝「首里金城町石畳道」保存修理事業（石垣修理）
事業主体：那覇市
事業経費：1,080,000円（県540,000円、市270,000円、所有者270,000円）
事業内容：○石畳道沿いの民家の石垣が傾き、崩落の危険性があったため、解体積み直しを行った。

イ) 管理事業

- a) 事業名：県史跡ミントングスク管理事業

事業主体：南城市

事業経費：100,000円（県50,000円、市50,000円）

事業内容：○県史跡ミントングスクの適切な保存と活用を図るために、文化財指定地域の雑草木の除去及び清掃を史跡管理者に委託で実施した。

④史跡・名勝の現状変更等

- 1) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成30年5月18日付30受庁財第4号の156）
中城村一の郭北側城壁の解体積み直し、及び遺構確認調査を文化庁が許可。
- 2) 史跡「座喜味城跡」の現状変更（平成30年4月19日付け沖縄県教育委員会指令第12号）
読谷村による仮設舞台や仮設テントの設置等、イベントに係る現状変更を沖縄県教育委員会が許可。
- 3) 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」の現状変更（平成30年6月15日付け30受庁財第4号の226）
今帰仁村による主郭から志慶真門郭に至る階段の設置、サイン設置、外郭地区試掘調査を文化庁が許可。
- 4) 史跡「勝連城跡」の現状変更（平成30年6月15日付け30受庁財第4号の224）
うるま市による石積側溝設置及び仮設道路設置を文化庁が許可。
- 5) 名勝「川平湾及び於茂登岳」の現状変更（平成30年6月15日付け30受庁財第4号の225）
特定非営利活動法人日本国際湿地保全連合による試料採取を文化庁が許可。
- 6) 史跡「勝連城跡」の現状変更（平成30年6月15日付け30受庁財第4号の297）
うるま市による四の郭南側南風原御門付近の遺構調査を文化庁が許可。
- 7) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成30年6月15日付け30受庁財第4号の374）
中城村による地滑り対策工事及び発掘調査を文化庁が許可。
- 8) 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」の現状変更（平成30年5月25日付け沖縄県教育委員会指令第14号）
今帰仁村による電柱の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 9) 史跡「円覚寺跡」の現状変更（平成30年5月29日付け沖縄県教育委員会指令第19号）
沖縄県による三門跡における土質調査及び標準貫入試験を沖縄県教育委員会が許可。
- 10) 史跡「北大東島燐鉱山遺跡」の現状変更（平成30年6月15日付け30受庁財第4号の375及び平成30年10月2日付け30文庁第15号による計画変更）
北大東村による燐鉱石貯蔵庫南側石積補強及び土砂崩落防止工事を文化庁が許可。
- 11) 史跡「内間御殿」の現状変更（平成30年7月20日付け30受庁財第4号の463）
西原町による東江御殿の西側外壁沿いの発掘調査及びサワフジを保護する柵の設置を文化庁が許可。
- 12) 史跡「首里城跡」の現状変更（平成30年7月20日付け30受庁財第4号の509）
内閣府沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所長による南城郭地区の管理者エリアにおける警備室建設を文化庁が許可。
- 13) 特別名勝「識名園」の現状変更（平成30年7月20日付け30受庁財第4号の517）
那覇市による心字池周辺の石積復旧工事及び樹木の撤去を文化庁が許可。
- 14) 史跡「知念城跡」の現状変更（平成30年7月20日付け30受庁財第4号の515）
南城市による西側城壁の根石の遺構確認調査及び西側城壁修復工事を文化庁が許可。
- 15) 史跡「糸数城跡」の現状変更（平成30年7月20日付け30受庁財第4号の516）
南城市による正門南側城壁沿いの遺構確認調査及び正門南側城壁石積工事を文化庁が許可。
- 16) 史跡「浦添城跡」の現状変更（平成30年6月28日付け教文第526号）
浦添市による内郭西地区における遺構確認調査を文化庁が許可。
- 17) 県史「野国貝塚群」の現状変更（平成30年6月21日付け沖縄県教育委員会指令第40号）
在沖アメリカ軍第718施設中隊環境保全課による電柱の設置及び光ファイバーケーブルの設置を沖縄県教育委員会文化財課が承認。
- 18) 県名「サンニヌ台」の現状変更（平成30年7月26日付け沖縄県教育委員会指令第38号）
与那国町による断層調査及び生痕化石調査に係る試料採取を沖縄県教育委員会が許可。

- 19) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成30年8月13日付け沖縄県教育委員会指令第41号）
中城村によるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 20) 史跡「首里城跡」の現状変更（平成30年9月21日付け30受庁財第4号の890）
内閣府沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所による美福門櫓の復元を文化庁が同意。
- 21) 史跡「銘苅墓跡群」の現状変更（平成30年9月21日付け30受庁財第4号の1023）
那覇市による伊是名御殿の墓の石敷きと石積の解体積み直しを文化庁が許可。
- 22) 県史「弁ヶ嶽」の現状変更（平成30年9月5日付け沖縄県教育委員会指令第44号）
那覇市による弁ヶ嶽西側縁の側溝及び集水柵の設置工事を沖縄県教育委員会が許可。
- 23) 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」の現状変更（平成30年9月21日付け沖縄県教育委員会指令第49号）
今帰仁城十三夜観月八重山芸能の夕べ実行委員会によるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 24) 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」の現状変更（平成30年9月21日付け沖縄県教育委員会指令第50号）
今帰仁村によるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 25) 史跡「具志原貝塚」の現状変更（平成30年11月16日付け30受文庁第4号の40）
伊江村による発掘調査を文化庁が許可。
- 26) 県史名「首里金城町石畳道」の現状変更（平成30年10月18日付け沖縄県教育委員会指令第57号）
那覇市による配水枝管の修繕工事を沖縄県教育委員会が許可。
- 27) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成30年10月18日付け沖縄県教育委員会指令第55号）
中城村によるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 28) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成30年10月18日付け沖縄県教育委員会指令第56号）
中城村によるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 29) 史跡「首里城跡」の現状変更（平成30年9月21日付け30受庁財第4号の890）
内閣府沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所による南城郭の美福門磴道地区における発掘を文化庁が同意。
- 30) 県史「龍潭及びその周辺」の現状変更（平成30年10月23日付け沖縄県教育委員会指令第58号）
首里城祭実行委員会による灯火ロウソク入りカップ設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 31) 史跡「伊礼原遺跡」の現状変更（平成30年11月16日付け30受文庁第4号の185）
北谷町による低湿地区における園路整備、せせらぎ水路の整備、雨水水路整備、高木植栽移植を文化庁が許可。
※設計は作成したもの、入札不調のため工事が行えなかったため平成31年3月29日付け30受文庁第4号の1118により平成31年度まで期間延長を承認
- 32) 史跡「具志川城跡」の現状変更（平成30年11月16日付け30受文庁第4号の186）
久米島町による三の郭崩落部分の石積解体を文化庁が許可。
- 33) 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」の現状変更（平成30年11月19日付け沖縄県教育委員会指令第62号）
株式会社NTTドコモによるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 34) 史「斎場御嶽」・名「アマミクスムイ」（斎場嶽）の現状変更（平成31年1月18日付け30受文庁第4号の496）
斎場御嶽入口からウローカーに至る参詣道における手摺及び階段の設置を文化庁が許可。
※資材の入荷に時間を要し、工期内に工事を完了できないため、平成31年3月29日付け30受文庁第4号の1119により平成31年度まで期間延長を承認
- 35) 史跡「今帰仁城跡」の現状変更（平成31年1月18日付け沖縄県教育委員会指令1号）
今帰仁村によるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 36) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成31年2月20日付け沖縄県教育委員会指令7号）
中城村によるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 37) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成31年2月20日付け沖縄県教育委員会指令8号）
株式会社エス・エー・ピーによるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。

- 38) 史「弁之御嶽」・名「アマミクヌムイ」(弁之御嶽)の現状変更(平成31年3月18日付け30受文財第4号の916)
那覇市による弁ヶ嶽西側縁の側溝及び集水柵の設置工事を文化庁が許可。※終了予定：令和2年3月31日
- 39) 県史名「首里金城町石畳道」の現状変更(平成31年3月6日付け沖縄県教育委員会指令第9号)
那覇市による石敷きの石材の取り外し及び整地、埋め戻しを沖縄県教育委員会が許可。
- 40) 県史名「首里金城町石畳道」の現状変更(平成31年3月6日付け沖縄県教育委員会指令第10号)
那覇市による石畳道に接する民家の石住の解体積み直しを沖縄県教育委員会が許可。
- 41) 史跡「座喜味城跡」の現状変更(平成31年4月5日付け沖縄県教育委員会指令21号)
株式会社エス・エー・ピーによるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。

(2) 天然記念物

①天然記念物緊急調査(国庫補助事業)

事業名：天然記念物緊急調査(トゲネズミ)

事業総額：4,904千円(国3,923千円、県981千円)

事業主体：沖縄県

事業期間：平成30年4月2日～平成31年3月31日

(平成29年度～平成32年度までの4年間継続事業)

事業目的：沖縄本島北部に生息する野生のネズミである。生態や個体数などについては、未だ不明な点が多く近年目撃事例も非常に少ない。2008年に再確認されるまで絶滅すら危ぶまれた。今後具体的な保護策を講じる上でも、生息状況を把握するための緊急調査を実施する必要がある。

事務局：沖縄県教育庁文化財課

事業内容：(1)調査地 沖縄本島北部地域

(2)調査項目

a) 生息実態調査

b) 行動観察(繁殖行動、その他樹上での行動)

②天然記念物食害対策事業(国庫補助事業)

事業名：国指定天然記念物食害対策事業(ノグチゲラ)

事業総額：5,010千円(国3,340千円、県251千円、国頭村1,419千円)

事業主体：国頭村

事業期間：平成30年4月2日～平成31年3月29日

事業目的：国指定特別天然記念物ノグチゲラを含めた鳥類による農作物(柑橘類)への食害状況の把握と、食害防止のために設置される保護網にノグチゲラが羅網し、滅失する事に対して、より効果的な保護網の材質や設置などについての検証実験を行うものである。保護網の実証実験については、ノグチゲラの羅網防止効果とともに、将来の保護網の普及を考慮し、より安価で設置が容易であるという観点についても検討を行う。

具体的には、周辺環境のモニタリング調査(畑周辺の植生及び鳥類調査)、保護網実証、農家へのヒアリング、目視や自動撮影カメラ等による食害モニタリングを行う。

③天然記念物再生事業(国庫補助事業)

事業名：天然記念物再生(慶佐次湾のヒルギ林)

事業総額：7,120千円(国5,696千円、県356千円、東村1,068千円)

事業主体：東村

事業期間：平成30年4月2日～平成31年3月30日

(平成28年度～令和2年度までの5年間継続事業)

事業目的：河川周辺からの赤土等の流入による天然記念物植生域の陸地化等による外来生物の侵入、植生分布範囲の拡大による河川生態系への劣化が懸念されているため、外来生物及び特定外来生物の分布調査を行い、駆除及び防除策を実施し、今後の適正な維持管理体制を構築する。

④歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業（国庫補助事業）

事業名：史跡等・登録記念物・歴史の道保存活用整備（田港御願の植物群落）

事業総額：3,696千円（県79千円、大宜味村661千円）

事業主体：大宜味村

事業期間：平成30年4月2日～平成31年3月31日

事業目的：「田港御願の植物群落」は田港集落の東側に所在し、古期石灰岩上に成立する学術的にたいへん貴重な植物群落である。また、当該地は古くから神聖な場所とされており、田港御願の拝所では神事が執り行われる。神事が執り行われる際には多くの来訪者が訪れるが、「田港御願の植物群落」として貴重な天然記念物として周知されていないため、説明文や指定地境界標を設置し、文化財としての周知と利用促進、適切な管理を図る。

⑤天然記念物再生事業（国庫補助事業）

事業名：天然記念物再生（平久保のヤエヤマシタン）

事業総額：2,856千円（国2,284千円、県143千円、石垣市429千円）

事業主体：石垣市

事業期間：平成30年4月2日～平成31年3月31日

（平成29年度～平成30年度までの2年間継続事業）

事業目的：ヤエヤマシタンはマメ科に属する高木種で、石垣市平久保に残っている自生地が我が国における植物分布上北限を示している。近年、シタンヒメヨコバイによる被害が目立ち、放置すると枯死する可能性がある。また、樹勢の衰えも目立つため、土壌改良を行い樹勢の回復に努める。

⑥天然記念物緊急調査（国庫補助事業）

事業名：与那国島の断層帯天然記念物再生（与那国の断層帯）

事業総額：3,309千円（国2,647千円、県215千円、与那国町447千円）

事業主体：与那国町

事業期間：平成30年4月2日～平成31年3月31日

（平成29年度～平成31年度までの3年間継続事業）

事業目的：与那国島内各所でみられる自然環境的な記念物に対する保護意識の高まりの中、開発行為等による改変や、環境変化によって保存が危ぶまれている地形・地質があることから、現状を正確に把握することや、その保護に資する調査の緊急性及び、地域における資料など集約のため、過去の調査報告等を踏まえ、調査及び現状における保全の必要性の検証を行う。

⑦天然記念物再生事業（国庫補助事業）

事業名：天然記念物再生（首里金城の大アカギ）

事業総額：3,656千円（国2,924千円、県183千円、那覇市549）

事業主体：那覇市

事業期間：平成30年4月2日～平成31年3月31日

（平成30年度～平成31年度までの2年間継続事業）

事業目的：首里金城の大アカギは樹齢200年以上と推定される5本の大木群であり、平成29年度に簡易的な樹勢の診断業務を行ったところ、良好な状態ではないことが判明した。そのため、樹勢回復を目的とした再生事業を実施する。

⑧天然記念物の現状変更等

平成30年度

- 1) 【国天】米原のヤエヤマヤシ群落の現状変更(動物調査及び工作物設置について)協議 (H30.4.18 進達)
協議者(日付):環境省那覇自然環境事務所長 (H30.3.13)
同意(期間):平成30年5月18日 付け 30受庁財第4号の157 (H30.5.18 ~ H30.7.31)
- 2) 【県天】宮良川のヒルギ林の現状変更(一時的な底質の掘削)申請 (H30.5.14 進達)
申請者(日付):沖縄県環境科学センター (H30.3.26)
許可(期間):平成30年5月18日 付け 30受庁財第4号の241 (H30.5.18 ~ H30.6.30)
- 3) 【国天】宮古・イタチ捕殺罟の現状変更(イタチ捕獲器設置)申請 (H30.5.17 進達)
申請者(日付):八千代エンジニアリング株式会社沖縄事務所所長阿川泰之 (H30.4.13)
許可(期間):平成30年6月15日 付け 30受庁財第4号の310 (H30.6.15 ~ R2.3.30)
- 4) 【国天】ケラマジカの現状変更(工作物設置)申請 (H30.5.17 進達)
申請者(日付):八千代エンジニアリング株式会社沖縄事務所所長阿川泰之 (H30.5.7)
許可(期間):平成30年5月14日 付け 沖縄県教育委員会指令第13号 (H30.5.21 ~ H30.10.30)
- 5) 【国天】イボイモリ・クロイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び移動)期変 (H30.5.24 許可)
期変者(日付):沖縄県土木建築部 南部土木事務所長 我那覇生雄 (H30.5.10)
許可(期間):平成30年5月24日 付け 沖縄県教育委員会指令第16号 (H30.5.24 ~ R3.6.1)
- 6) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H30.5.23 進達)
申請者(日付):森トラスト株式会社代表取締役社長 伊達美和子 (H30.5.21)
許可(期間):平成30年6月15日 付け 30受庁財第4号の372 (H30.6.15 ~ R3.3.31)
- 7) 【国天】クロイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H30.5.23 許可)
申請者(日付):森トラスト株式会社代表取締役社長 伊達美和子 (H30.5.21)
許可(期間):平成30年5月23日 付け 沖縄県教育委員会指令第15号 (H30.5.23 ~ R3.3.31)
- 8) 【県天】イボイモリ・クロイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び移動)期変 (H30.5.24 進達)
期変者(日付):学校法人沖縄科学技術大学院大学学園 理事長 ポーター・グルース (H30.4.27)
0 (期間):明治33年1月0日 付け (M33.1.0 ~ M33.1.0)
- 9) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H30.5.24 進達)
申請者(日付):学校法人沖縄科学技術大学院大学学園 理事長 ポーター・グルース (H30.4.27)
許可(期間):平成30年6月15日 付け 30受庁財第4号の404 (H30.6.15 ~ R3.6.15)
- 10) 【県天】オカヤドカリの現状変更(クマネズミ捕獲器設置)申請 (H30.5.24 進達)
申請者(日付):八千代エンジニアリング株式会社河内紀浩 (H30.5.7)
許可(期間):平成30年6月15日 付け 30受庁財第4号の405 (H30.6.15 ~ R1.10.30)
- 11) 【国特】アカヒゲ他3種の現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H30.5.24 進達)
申請者(日付):電源開発株式会社沖縄海水揚水事務所長 奥寺浩之 (H30.5.21)
0 (期間):明治33年1月0日 付け (M33.1.0 ~ M33.1.0)
- 12) 【国天】ホルストガエル他3種の現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H30.6.5 許可)
申請者(日付):電源開発株式会社沖縄海水揚水事務所長 奥寺浩之 (H30.5.21)
許可(期間):平成30年6月5日 付け 沖縄県教育委員会指令第20号 (H30.6.5 ~ H31.3.29)
- 13) 【県天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)期変 (H30.5.31 進達)
期変者(日付):沖縄県南部土木事務所長 我那覇生雄 (H30.5.28)
許可(期間):平成30年6月15日 付け 30受庁財第4号の425 (H30.6.15 ~ R3.7.17)
- 14) 【県天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H30.6.20 進達)
申請者(日付):沖縄県土木建築部 中部土木事務所長 真栄里嘉孝 (H30.6.4)
許可(期間):平成30年8月14日 付け 30受庁財第4号の590 (H30.7.20 ~ R3.7.20)
- 15) 【県天】慶佐次湾のヒルギ林の現状変更(チ保存のため必要な試験材料の採取)申請 (H30.6.20 進達)
申請者(日付):一般財団法人沖縄県環境科学センター (H30.5.30)
許可(期間):平成30年6月20日 付け 沖縄県教育委員会指令第22号 (H30.6.20 ~ R3.6.20)
- 16) 【国天】クロイトカゲモドキの現状変更(捕獲及び試料採取)計変 (H30.6.18 許可)
計変者(日付):環境省那覇自然環境事務所長 (H30.4.24)
許可(期間):平成30年6月18日 付け 沖縄県教育委員会指令第23号 (H30.6.18 ~ H31.3.31)
- 17) 【国天】クロイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び試料採取)期変 (R2.5.18 許可)
期変者(日付):千葉県立中央博物館研究員 栗田隆気 (H30.5.18)
許可(期間):平成30年6月18日 付け 沖縄県教育委員会指令第24号 (H30.6.18 ~ R2.5.18)

- 18) 【国天】南大東島東海岸植物群落の現状変更()申請 (H30.6.21 進達)
 申請者(日付):南大東村長 仲田建匠 (H30.6.15)
 許可(期間):平成30年7月20日 付け 30受庁財第4号の628 (H30.8.14 ~ R2.12.31)
- 19) 【県天】万座毛石灰岩植物群落の現状変更(売店一帯の整備、第一駐車場の一部延長整備、第2駐車場へのアクセス道路整備)申請 (H30.6.25 許可)
 申請者(日付):恩納村長 長濱善巳 (H30.3.19)
 許可(期間):平成30年6月25日 付け 沖縄県教育委員会指令第25号 (H30.6.25 ~ R3.3.31)
- 20) 【国天】ヨナグニサンの現状変更(譲渡・展示)申請 (H30.6.25 許可)
 申請者(日付):石川県ふれあい昆虫館 (H30.5.28)
 許可(期間):平成30年6月25日 付け 沖縄県教育委員会指令第26号 (H30.6.25 ~ H30.10.8)
- 21) 【県天】アカヒゲ他3種の現状変更(調査による一時捕獲)申請 (H30.6.25 許可)
 申請者(日付):電源開発株式会社沖縄海水揚水事務所長 奥寺浩之 (H30.5.21)
 許可(期間):平成30年6月25日 付け 沖縄県教育委員会指令第27号 (H30.6.25 ~ H31.3.29)
- 22) 【県天】ヨナグニサンの現状変更(一時捕獲及び飼育展示)申請 (H30.6.25 許可)
 申請者(日付):与那国町教育委員会 教育長職務代理者 尾辻美佐恵 (H30.5.18)
 許可(期間):平成30年6月25日 付け 沖縄県教育委員会指令第28号 (H30.6.25 ~ H30.3.31)
- 23) 【国天】南大東島東海岸植物群落の現状変更(工作物設置)計変 (H30.6.26 許可)
 計変者(日付):南大東村長 仲田建匠 (H30.6.12)
 許可(期間):平成30年6月26日 付け 沖縄県教育委員会指令第29号 (H30.6.26 ~ H30.8.31)
- 24) 【国天】クロイトカゲモドキの現状変更(作業員の追加(一時捕獲及び標本採集))計変 (H30.7.12 許可)
 計変者(日付):琉球大学熱帯生物圏研究センター 准教授 戸田守 (H30.7.10)
 許可(期間):平成30年7月12日 付け 沖縄県教育委員会指令第30号 (H30.7.12 ~ R1.9.28)
- 25) 【県天】仲の神島海鳥繁殖地の現状変更(モニタリング調査)申請 (H30.7.13 許可)
 申請者(日付):東海大学沖縄地域研究センター 河野裕美 (H30.6.21)
 許可(期間):平成30年7月13日 付け 沖縄県教育委員会指令第31号 (H30.7.13 ~ R3.3.31)
- 26) 【県天】仲の神島海鳥繁殖地の現状変更(ペグ・杭の設置及び小型機器の装着等)申請 (H30.7.17 進達)
 申請者(日付):東海大学沖縄地域研究センター 河野裕美 (H30.6.21)
 許可(期間):平成30年9月21日 付け 30受庁財第4号の752 (H30.9.21 ~ H31.3.31)
- 27) 【国天】クロイトカゲモドキの現状変更(捕獲及び飼育)申請 (H30.7.13 許可)
 申請者(日付):一般財団法人沖縄美ら島財団理事長 花城良廣 (H30.6.28)
 許可(期間):平成30年7月13日 付け 沖縄県教育委員会指令第32号 (H30.7.13 ~ R3.6.30)
- 28) 【国天】与那覇岳天然保護区域の現状変更(蘚苔類の試料採取)申請 (H30.7.19 許可)
 申請者(日付):広島大学大学院理学研究科教授 山口富美男 (H30.6.29)
 許可(期間):平成30年7月19日 付け 沖縄県教育委員会指令第34号 (H30.7.19 ~ H31.3.31)
- 29) 【県天】仲間川天然保護区域の現状変更(蘚苔類の試料採取)申請 (H30.7.19 許可)
 申請者(日付):広島大学大学院理学研究科教授 山口富美男 (H30.6.29)
 許可(期間):平成30年7月19日 付け 沖縄県教育委員会指令第35号 (H30.7.19 ~ H31.3.31)
- 30) 【国特】字根の大ソテツの現状変更(樹状回復)申請 (H30.7.20 許可)
 申請者(日付):久米島町長 大田治雄 (H30.7.13)
 許可(期間):平成30年7月20日 付け 沖縄県教育委員会指令第36号 (H30.7.20 ~ H30.11.30)
- 31) 【国天】ミヤコサワガニの現状変更(一時捕獲及び調査)申請 (H30.9.25 許可)
 申請者(日付):京都大学大学院理学研究科 (H30.7.7)
 許可(期間):平成30年7月26日 付け 沖縄県教育委員会指令第39号 (H30.9.25 ~ H30.9.29)
- 32) 【県天】ヤンバルクイナの現状変更(野生復帰試験)協議 (H30.8.7 進達)
 協議者(日付):環境省那覇自然環境事務所長 (H30.2.5)
 許可(期間):平成30年9月21日 付け 30受庁財第4号の830 (H30.9.21 ~ R3.3.31)
- 33) 【国天】ケラマジカ及びその生息地の現状変更(工作物(自動撮影カメラ)設置)申請 (H30.8.10 許可)
 申請者(日付):一般財団法人沖縄県環境科学センター (H30.7.25)
 許可(期間):平成30年8月10日 付け 沖縄県教育委員会指令第40号 (H30.8.10 ~ H30.11.30)
- 34) 【国天】カムリワシの現状変更(発信器装着)申請 (H30.8.10 許可)
 申請者(日付):東海大学沖縄地域研究センター 河野裕美 (H30.7.24)
 許可(期間):平成30年8月10日 付け 沖縄県教育委員会指令第42号 (H30.8.10 ~ H31.3.31)
- 35) 【国天】嘉津宇岳安和岳八重岳自然保護区の現状変更(植物の標識及び試料採取、土壌採取)申請 (H30.8.20 許可)
 申請者(日付):国立沖縄高等専門学校 渡辺謙太 (H30.8.3)
 許可(期間):平成30年8月20日 付け 沖縄県教育委員会指令第43号 (H30.8.20 ~ R3.3.31)

- 36) 【県天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H30.8.27 進達)
 申請者(日付): 沖縄県土木建築部宮古土木事務所長 平良勝一 (H30.8.7)
 許可(期間): 平成30年9月21日 付け 30受庁財第4号の1014 (H30.9.21 ~ R2.3.31)
- 37) 【県天】オカヤドカリの現状変更(調査のための採取)申請 (H30.8.27 進達)
 申請者(日付): 沖縄県環境部長 大浜浩志 (H30.8.22)
 許可(期間): 平成30年9月21日 付け 30受庁財第4号の1034 (H30.9.21 ~ H31.3.31)
- 38) 【県天】クロイトカゲモドキの現状変更(捕獲及び標識)申請 (H30.9.10 許可)
 申請者(日付): 那覇自然環境事務所長 東岡礼治 (H30.8.29)
 許可(期間): 平成30年9月10日 付け 沖縄県教育委員会指令第45号 (H30.9.10 ~ H31.3.31)
- 39) 【国天】慶佐次湾のヒルギ林の現状変更(特定外来植物の除去)申請 (H30.9.7 進達)
 申請者(日付): 東村教育委員会教育長 比嘉一之 (H30.9.4)
 許可(期間): 平成30年9月21日 付け 30受庁財第4号の1040 (H30.9.21 ~ R3.3.31)
- 40) 【国特】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び生息状況調査)申請 (H30.9.11 許可)
 申請者(日付): 千葉大学海洋バイオシステム研究センター准教授 菊地友則 (H30.8.21)
 許可(期間): 平成30年9月11日 付け 沖縄県教育委員会指令第46号 (H30.9.11 ~ R1.9.30)
- 41) 【県天】ミヤコサワガニの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H30.9.25 許可)
 申請者(日付): 沖縄県農林水産部宮古農林水産振興センター (H30.3.22)
 許可(期間): 平成30年9月25日 付け 沖縄県教育委員会指令第48号 (H30.9.25 ~ H31.3.31)
- 42) 【国天】オカヤドカリの現状変更(マングース捕獲器設置)申請 (H30.9.21 許可)
 申請者(日付): 八千代エンジニアリング株式会社 (H30.9.12)
 許可(期間): 平成30年10月19日 付け 30文庁第81 (H30.10.19 ~ R2.3.31)
- 43) 【国天】嘉津宇岳安和岳八重岳自然保護区の現状変更(仮設レーダー設置)期変 (H30.9.25 許可)
 期変者(日付): 国土交通省 大阪航空局長 川勝弘彦 (H30.9.11)
 許可(期間): 平成30年9月25日 付け 沖縄県教育委員会指令第51号 (H30.9.25 ~ H30.9.30)
- 44) 【国天】オカヤドカリの現状変更(マングース捕獲器設置)申請 (H30.9.28 進達)
 申請者(日付): 環境サイエンス株式会社 伊敷かほ (H30.9.21)
 許可(期間): 平成30年9月28日 付け 30受文庁第4号の105 (H30.10.19 ~ H30.11.9)
- 45) 【国天】リュウキュウヤマガメの現状変更(一時捕獲及び試料採取)申請 (H30.10.10 許可)
 申請者(日付): 京都産業大学総合生命科学部准教授 高橋純一 (H30.9.18)
 許可(期間): 平成30年10月10日 付け 沖縄県教育委員会指令第52号 (H30.10.10 ~ H31.3.31)
- 46) 【国天】フタオチョウの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H30.10.10 許可)
 申請者(日付): 沖縄防衛局長 中嶋浩一郎 (H30.9.27)
 許可(期間): 平成30年10月10日 付け 沖縄県教育委員会指令第53号 (H30.10.10 ~ H31.3.31)
- 47) 【県天】セマルハコガメの現状変更(一時捕獲及び試料採取)申請 (H30.10.11 許可)
 申請者(日付): 京都産業大学総合生命科学部准教授 高橋純一 (H30.9.18)
 許可(期間): 平成30年10月11日 付け 沖縄県教育委員会指令第54号 (H30.10.11 ~ H31.3.31)
- 48) 【国特】慶佐次湾のヒルギ林の現状変更(水路掘削等)申請 (H30.10.23 許可)
 申請者(日付): 沖縄県知事 玉城康裕(県環境部環境再生課) (H30.10.12)
 許可(期間): 平成30年12月20日 付け 30受庁財第4号の240 (H30.12.20 ~ R4.3.31)
- 49) 【県天】与那国町久部良岳天然保護区域の現状変更(発電機等の設置)申請 (H30.10.26 許可)
 申請者(日付): 日本放送協会 沖縄放送局長 傍田賢治 (H30.10.11)
 許可(期間): 平成30年10月26日 付け 沖縄県教育委員会指令第59号 (H30.10.26 ~ H31.3.31)
- 50) 【県天】宮良川のヒルギ林の現状変更(橋梁工事)申請 (H30.10.26 進達)
 申請者(日付): 八重山土木事務所 所長 勢理客 武 (H30.10.25)
 許可(期間): 平成30年11月16日 付け 30受文庁第4号の197 (H30.11.16 ~ R3.3.31)
- 51) 【県天】イリオモテヤマネコの現状変更(一時捕獲、試料採取、発信器装着)申請 (H30.10.25 進達)
 申請者(日付): 環境省那覇自然環境事務所長 (H30.10.17)
 許可(期間): 平成30年11月16日 付け 30受文庁第4号の195 (H30.11.16 ~ R3.3.31)
- 52) 【県天】イボイモリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H30.11.2 許可)
 申請者(日付): 一般財団法人沖縄環境科学センター (H30.10.4)
 許可(期間): 平成30年11月2日 付け 沖縄県教育委員会指令第60号 (H30.11.2 ~ H31.11.30)
- 53) 【県天】嘉津宇岳安和岳八重岳自然保護区の現状変更(アサギマダラ調査)申請 (H30.11.12 許可)
 申請者(日付): 名護博物館 村田尚史 (H30.10.26)
 許可(期間): 平成30年11月12日 付け 沖縄県教育委員会指令第61号 (H30.11.12 ~ H30.12.31)

- 54) 【国天】宮良川のヒルギ林の現状変更(橋梁工事)期変 (H30.11.22 許可)
 期変者(日付):八重山土木事務所 所長 勢理客 武 (H30.11.6)
 許可(期間):平成30年12月20日 付け 30受文庁第4号の293 (H30.12.20 ~ R2.3.31)
- 55) 【県天】リュウキュウヤマガメの現状変更(一時捕獲及び試料採取)申請 (H30.11.29 許可)
 申請者(日付):京都産業大学総合生命科学部准教授 高橋純一 (H30.10.25)
 許可(期間):平成30年11月29日 付け 沖縄県教育委員会指令第63号 (H30.11.29 ~ H31.3.31)
- 56) 【県天】仲間川天然保護区域の現状変更(ビデオカメラの設置等)申請 (H30.12.10 許可)
 申請者(日付):大阪大学 国際共創大学院学位プログラム 瀧上ゆかり (H30.11.28)
 許可(期間):平成30年12月10日 付け 沖縄県教育委員会指令第64号 (H30.12.10 ~ H31.3.31)
- 57) 【国天】首里金城の大アカギの現状変更(土壌改良に伴う掘削)申請 (H30.12.11 進達)
 申請者(日付):那覇市長 城間幹子 (H30.12.6)
 許可(期間):平成31年1月18日 付け 30受文庁第4号の358 (H31.1.18 ~ H31.3.31)
- 58) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H30.12.14 進達)
 申請者(日付):沖縄県北部土木事務所長 多嘉良斉 (H30.12.7)
 許可(期間):平成31年1月18日 付け 30受文庁第4号の455 (H30.1.18 ~ R3.3.31)
- 59) 【県天】田港御願の植物群落の現状変更(境界標識設置)申請 (H30.12.19 許可)
 申請者(日付):大宜味村長 宮城功光 (H30.12.6)
 許可(期間):平成30年12月19日 付け 沖縄県教育委員会指令第65号 (H30.12.19 ~ H31.3.31)
- 60) 【国特】ヤンバルテナゴコガネの現状変更(生息状況調査及び組織採取等)申請 (H30.12.25 進達)
 申請者(日付):環境省那覇自然環境事務所長 東岡礼治 (H30.12.14)
 許可(期間):平成31年1月18日 付け 30受文庁第4号の548 (H31.1.18 ~ R4.3.31)
- 61) 【県天】オカヤドカリの現状変更(採取)申請 (H31.1.21 進達)
 申請者(日付):沖縄オカヤドカリ取扱商組合 組合長 新垣昭 (H31.1.16)
 許可(期間):平成31年2月8日 付け 30受文庁第4号の662 (H31.2.8 ~ R1.9.30)
- 62) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H31.2.5 進達)
 申請者(日付):ウェブクレーリアルエステイト株式会社代表取締役 河野 雅哉 (H31.1.25)
 許可(期間):平成31年3月18日 付け 30受文庁第4号の702 (H31.3.18 ~ R4.3.31)
- 63) 【国天】イボイモリ、クロイトカゲモドキ、フタオチョウの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H31.2.4 進達)
 申請者(日付):ウェブクレーリアルエステイト株式会社代表取締役 河野 雅哉 (H31.1.25)
 許可(期間):平成31年2月4日 付け 沖縄県教育委員会指令第5号 (H31.2.4 ~ R4.3.31)
- 64) 【国天】南大東島東海岸植物群落の現状変更(工作物設置)申請 (H31.2.15 進達)
 申請者(日付):南大東村長 仲田建匠 (H31.2.8)
 許可(期間):平成31年3月18日 付け 30受文庁第4号の813 (H31.3.18 ~ R3.3.31)
- 65) 【国天】オカヤドカリ他2種の現状変更(一時捕獲及び移動)協議 (H31.2.25 進達)
 協議者(日付):沖縄防衛局長 中嶋浩一郎 (R1.12.28)
 許可(期間):平成31年3月18日 付け 30受文庁第4号の904 (H31.3.18 ~ R3.3.31)
- 66) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H31.2.25 進達)
 申請者(日付):株式会社イーエーシー代表取締役大石哲也 (H31.2.4)
 許可(期間):平成31年3月18日 付け 30受文庁第4号の903 (H31.3.18 ~ R4.2.31)
- 67) 【国特】アサヒナキマダラセセリの現状変更(採取)申請 (H31.3.11 許可)
 申請者(日付):東京大学総合研究博物館教授 矢後勝也 (H31.2.12)
 許可(期間):平成31年3月11日 付け 沖縄県教育委員会指令第11号 (H31.3.11 ~ R2.3.31)
- 68) 【国天】リュウキュウヤマガメの現状変更(永年飼養・教育普及)申請 (H31.3.11 許可)
 申請者(日付):名護博物館館長 仲田宏 (H30.6.20)
 許可(期間):平成31年3月11日 付け 沖縄県教育委員会指令第12号 (H31.3.11 ~ 個体滅失)
- 69) 【国天】セマルハコガメの現状変更(永年飼養・教育普及)申請 (H31.3.11 許可)
 申請者(日付):名護博物館館長 仲田宏 (H30.9.5)
 許可(期間):平成31年3月11日 付け 沖縄県教育委員会指令第13号 (H31.3.11 ~ 個体滅失)
- 70) 【国天】リュウキュウヤマガメの現状変更(永年飼養・教育普及)申請 (H31.3.11 許可)
 申請者(日付):名護自然動植物公園株式会社 代表取締役社長 宮里好一 (H30.11.27)
 許可(期間):平成31年3月11日 付け 沖縄県教育委員会指令第14号 (H31.3.11 ~ 個体滅失)
- 71) 【国天】リュウキュウヤマガメの現状変更(永年飼養・教育普及)申請 (H31.3.11 許可)
 申請者(日付):名護自然動植物公園株式会社 代表取締役社長 宮里好一 (H31.1.18)
 許可(期間):平成31年3月11日 付け 沖縄県教育委員会指令第15号 (H31.3.11 ~ 個体滅失)

- 72) 【国天】セマルハコガメの現状変更(永年飼養・教育普及)申請 (H31.3.15 許可)
 申請者(日付):沖縄県立知念高等学校 校長 津覇古廣和 (H30.8.17)
 許可(期間):平成31年3月15日 付け 沖縄県教育委員会指令第16号 (H31.3.15 ~ 個体滅失)
- 73) 【国天】星立天然保護区域の現状変更(毎木調査)協議 (H31.3.19 進達)
 協議者(日付):沖縄森林管理署長 宮俊輔 (H31.2.27)
 同意(期間):平成31年4月19日 付け 30受文庁第4号の1102 (H31.4.19 ~ R4.4.18)
- 74) 【国天】アカヒゲ他3種の現状変更(一時捕獲及び調査)申請 (H31.3.19 許可)
 申請者(日付):電源開発株式会社沖縄海水揚水事務所長 奥寺浩之 (H31.2.27)
 許可(期間):平成31年3月19日 付け 沖縄県教育委員会指令第17号 (H31.3.19 ~ R4.7.31)
- 75) 【国天】ホルストガエル他3種の現状変更(一時捕獲及び調査)申請 (H31.3.22 許可)
 申請者(日付):電源開発株式会社沖縄海水揚水事務所長 奥寺浩之 (H31.2.27)
 許可(期間):平成31年3月22日 付け 沖縄県教育委員会指令第18号 (H31.3.22 ~ R4.7.31)
- 76) 【国天】イボイモリの現状変更(試料採取)申請 (H31.3.25 許可)
 申請者(日付):琉球大学教育学部 准教授 富永篤 (H31.3.15)
 許可(期間):平成31年3月25日 付け 沖縄県教育委員会指令第19号 (H31.3.25 ~ R4.3.31)
- 77) 【国天】仲間川天然保護区域の現状変更(動植物等採取)申請 (H31.3.29 進達)
 申請者(日付):一般財団法人沖縄環境科学センター代表理事 比嘉悟 (H31.3.18)
 許可(期間):令和元年4月19日 付け 31受文庁第4号の28 (H31.4.19 ~ R4.6.30)
- 78) 【国天】星立天然保護区域の現状変更(動植物等採取)申請 (H31.3.29 進達)
 申請者(日付):一般財団法人沖縄環境科学センター代表理事 比嘉悟 (H31.3.18)
 許可(期間):令和元年5月27日 付け 31受文庁第4号の29 (H31.4.19 ~ R4.6.30)
- 79) 【国天】リュウキュウヤマガメの現状変更(永年飼養・教育普及)申請 (H31.3.29 許可)
 申請者(日付):宜野湾市教育委員会教育長 知念春美 (H30.9.13)
 許可(期間):平成31年3月29日 付け 沖縄県教育委員会指令第20号 (H31.3.29 ~ 個体滅失)

5. 埋蔵文化財

埋蔵文化財は、全国各地の歴史や文化の成り立ちを理解する上で欠くことのできない、国民共有の貴重な歴史的財産である。沖縄県には現時点で約 4,000 か所が確認されており、旧石器時代から近代に至る時期の貝塚や集落跡、古墓、グスク等、その種別は多岐にわたる。

埋蔵文化財は他の文化財同様、文化財保護法（以下「法」という。）による保護対象となっており、その規定により各種手続き、処理が行われる。

その基礎作業として、教育委員会は表面踏査や試掘調査等の予備調査により、埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の所在把握を行い、その情報を広く周知させる（法第 95 条 1）。

また、周知の埋蔵文化財包蔵地外で新たに埋蔵文化財が発見された場合は、発見者から教育委員会あて遺跡発見届・通知を行う（民間：法第 96 条、国・地方自治体：法第 97 条）。

遺構や遺物の状況から重要と思われる埋蔵文化財に関しては、保存目的の範囲確認調査により詳細なデータを収集し、将来の文化財指定の際の基礎資料とする。

周知の埋蔵文化財包蔵地において諸開発が計画された場合、開発者は当該市町村教育委員会あてに文化財の有無・取り扱いについて照会・協議を行い（開発協議）、その取り扱いについて両者で調整を行う（民間：法第 93 条、国・地方自治体：法第 94 条）。その中で開発者及び地域住民に埋蔵文化財保護の趣旨を十分説明し理解と協力を求め、必要に応じ試掘・確認調査を実施し、埋蔵文化財の範囲・性格等を把握する。開発者と協議調整の結果、周知の埋蔵文化財包蔵地の現状保存が困難となった場合は、記録保存の措置を講じるための緊急発掘調査を実施する（法第 99 条 1）。

その他発掘調査として、大学や博物館等が主体となって行う学術目的の調査がある（法第 92 条）。

これらの調査に際しては、調査主体者から沖縄県教育委員会あてに発掘調査の着手届、終了後には終了届を提出する。

その他、石灰岩採掘等の鉱業関連事業に際しては、鉱業法の規定により、鉱業権者から沖縄県知事あてに文化財の有無について照会を行う（鉱業権法第 24 条）。

発掘調査により出土した遺物は、遺失物扱いとなることから、所有者が明らかな場合は返還を行い（法第 103 条）、所有者不明の場合は調査終了後、速やかに遺失物法の規定に基づき、所轄する警察署長に届け出る（遺失物法第 4 条第 1 項）。警察署長は、遺失物が文化財と認められる場合は、県教育委員会に提出する（法第 101 条）。県教育委員会は、警察署長提出の物件が文化財かどうかを監査し（法第 102 条）、文化財と認められた場合、警察署長は 6 か月間その旨を公告する（遺失物法第 7 条第 4 項）。その間、所有者が名乗り出なければ出土品の所有権は県に帰属する（法第 105 条）。出土品について県以外が保有する場合は、沖縄県教育委員会あてに出土文化財譲与申請を行う（法第 107 条）。

(1) 開発協議（文化財の有無及び取扱いの照会・協議）

(平成30年4月1日～平成31年3月29日)

項目 No.	所在地	開発等の種別	事業者（上段） 進達者（下段）	回答内容（所在文化財）
1				

(2) 文化財保護法第93条及び94条に係る発掘届・通知一覧

(平成30年4月1日～平成31年3月29日)

項目 No.	遺跡名	所在地	工事主体	工事目的	回答内容
1	鏡水原遺跡	那覇市	沖縄総合事務局 南部国道事務所	道路	発掘調査
2	与那覇旧日本軍壕	南風原町	沖縄総合事務局 南部国道事務所	道路	発掘調査
3	谷茶の炭焼窯跡群 谷茶の住民避難豪群	恩納村	恩納村町長 長浜 善巳	その他の開発 (土捨場)	発掘調査
4	辺土名兼久遺物散布地	国頭村	国頭村村長 宮城 久和	その他建物 (コミュニティ施設)	発掘調査
5	壺屋古窯群	那覇市	新垣 和子	その他の開発 (防災施設建設)	発掘調査
6	豊見城グスク 豊見城古島B遺跡	豊見城市	沖縄県知事 翁長 雄志	その他建物 (沖縄県工芸産業 振興拠点施設)	発掘調査
7	安和貝塚	名護市	仲地 涼子	その他建物 (学童教室)	工事立会
8	兼久中原遺跡	嘉手納町	在沖米空軍 第718施設 中隊	その他建物 (施設建設)	発掘調査
9	屋部貝塚	名護市	岸本 崇	個人住宅	工事立会
10	許田貝塚	名護市	棚原 憲禎	個人住宅	工事立会
11	宇茂佐古島遺跡	名護市	新垣産業(株) 代表者 新垣 力太	個人住宅	慎重工事
12	宇茂佐古島遺跡	名護市	新垣産業(株) 代表者 新垣 力太	個人住宅	慎重工事
13	保良前方原遺跡	宮古島市	宮古農林水産振興セン ター	農業関連	慎重工事
14	宇茂佐古島遺跡	名護市	渡久地 広行	個人住宅	慎重工事
15	大城遺跡	北中城村	宮城 直美	その他建物 (拝所)	工事立会
16	保里遺跡	宮古島市	宮古土木事務所 所長 平良 勝一	道路	発掘調査
17	稲福遺跡	南城市	知念学	個人住宅	慎重工事
18	末吉村跡	那覇市	那覇市長 城間 幹子	公園造成	発掘調査
19	根間・西里遺跡	宮古島市	株式会社 デイライフ 代表取締役	その他建物 (テナントビル新築)	発掘調査
20	友利遺跡	宮古島市	鈴木 龍男	その他建物 (旅館)	慎重工事
21	新里運座原遺物散布地	南城市	西村 純	個人住宅	慎重工事
22	溝原貝塚	名護市	沖縄電力 名護支店長	電気	工事立会
23	屋部川口古瓦出土地	名護市	名護市教育委員会 教育長 岸本 敏孝	学校	工事立会
24	ティラフグ遺跡	宮古島市	(株)Eminence Air 代表取締役 高里聡	共同住宅	発掘調査
25	饒波原遺物散布地(B地点) 饒波原古墓群	豊見城市	儀間 裕也	個人住宅	工事立会

項目 No.	遺 跡 名	所 在 地	工 事 主 体	工 事 目 的	回 答 内 容
26	瀬底唐泊遺跡	本部町	国立大学法人 琉球大学学長 大城 肇	その他開発 (法面保護)	慎重工事
27	今帰仁原遺跡	今帰仁村	山下 彰悟	個人住宅	慎重工事
28	川平大兼久古墓群	石垣市	石垣市長 中山 義隆	学校	発掘調査
29	前田・経塚近世古墓群	浦添市	浦添市長 松本 哲治	公園造成	発掘調査
30	仲間遺跡	浦添市	與儀 元	個人住宅	発掘調査
31	鏡水崎原遺跡	那覇市	国土交通省大阪航空局 長	その他開発 (空調工事)	工事立会
32	溝原貝塚	名護市	末吉 業忠	個人住宅	工事立会
33	饒波原遺物散布地(B地点) 饒波原古墓群	豊見城市	渡具知 豊	個人住宅	工事立会
34	上座又殿遺跡内、第24師団司令 部本部壕	糸満市	南埜 安男	その他開発 (遺骨収集)	工事立会
35	城間村落集落遺跡	浦添市	沖縄防衛局長	その他建物 (ランドリー)	発掘調査
36	大浦崎収容所跡 思原遺跡	名護市	沖縄防衛局長	その他開発 (在沖米軍施設)	工事立会
37	志多伯遺跡	八重瀬町	南部水道事業団 企業長 仲榮眞 弘実	その他建物 (調圧槽)	工事立会
38	テミグラグスク	八重瀬町	南部水道事業団 企業長 仲榮眞 弘実	その他建物 (調圧槽)	工事立会
39	宇茂佐古島遺跡	名護市	新垣産業株式会社 (代)新垣 力太	個人住宅	慎重工事
40	仲村渠殿遺跡	南城市	日高 走	個人住宅	発掘調査
41	真栄里撫原古墓群	石垣市	株式会社 リーテック 代表取締役 平松 克敏	その他開発 (リゾート開発)	発掘調査
42	真玉橋古島A遺跡	豊見城市	株式会社 マックス 代表取締役 前田 正	個人住宅	慎重工事
43	照屋グスク内 第24師団構築壕	糸満市	みらいを紡ぐボランティア 事務局 浜田 哲二	その他開発 (遺骨収集)	慎重工事
44	饒波原遺物散布地(B地点) 饒波原古墓群	豊見城市	我那覇 公太	個人住宅	工事立会
45	白川福地原遺跡	沖縄市	沖縄防衛局長	その他開発 (米軍施設移設)	慎重工事
46	島ノ前原遺跡	与那原町	赤嶺 恭士	個人住宅	慎重工事
47	宇茂佐古島遺跡	名護市	比嘉 勝行	個人住宅	慎重工事
48	東江上遺跡	伊江村	儀保 菊乃	個人住宅	工事立会
49	宇茂佐古島遺跡	名護市	新垣産業株式会社 (代)新垣 力太	個人住宅	慎重工事
50	平安山又上集落跡 下勢頭集落跡	北谷町	沖縄防衛局長	その他開発 (入域管理施設 等)	発掘調査
51	島ノ前原遺跡	与那原町	仲宗根 雄薫・詩子	個人住宅	工事立会
52	島ノ前原遺跡	与那原町	与那原町長 照屋 勉	その他建物 (仮庁舎プレハブ)	工事立会
53	楚辺親見原遺跡C	読谷村	沖縄防衛局長	道路・その他建 物(倉庫群)	発掘調査
54	宇茂佐古島遺跡	名護市	鳥越 和典	個人住宅	慎重工事

(3) 文化財保護法第96条及び97条に係る遺跡発見届・通知一覧

(平成30年4月1日～平成31年3月29日)

項目 No.	発見地	遺跡名	届出・通知者	原因	措置状況
1	沖縄県那覇市繁多川3丁目。4丁目地内	真珠道跡(識名坂地区)	那覇市長 城間 幹子	道路	発掘調査
3	沖縄県島尻郡与那原町字与那原地内	平良原の壕	沖縄総合事務局 開発建設部 南部国道事務所長 小幡 宏	道路	発掘調査
4	沖縄県那覇市安次嶺658-15、656-16、658-19	安次嶺石大名原壕	沖縄防衛局長	土木工事中	工事立会い
5	沖縄県宮古島市城辺字西里添1242-1	中山底の古墓	宮古島市役所 農林水産部 農村整備課長 平良 勝彦	その他(土地改良事業事前調査)	発掘調査
6	沖縄県宮古島市下地嘉手苺929、930	第2イリノソコ古墓群	宮古農林水産センター所長 大村 学	その他(土地改良事業掘削中)	発掘調査
7	沖縄県那覇市当間13-7、14	当間原壕2	沖縄防衛局長	土木工事中	工事立会い
8	沖縄県中頭郡西原町字安室後ノ川原367-1	安室後ノ川原古墓群	城間 勉彦	土木工事中(墓建立のための造成工事中)	発掘調査
9	沖縄県石垣市字登野城山根2051	登野城山根古墓	石垣市教育委員会 教育長 石垣 安志	その他(測量の為の伐採)	工事立会い

(4) 文化財保護法第102条に係る埋蔵物の鑑査及び文化財認定一覧

(平成30年4月1日～平成31年3月29日)

項目 No.	遺跡名	発見年月日	発見者	発見地の所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
1	根謝銘城	H30. 3. 13	大宜味村教育委員会	大宜味村長	土器、青磁、陶器、貝類、獣骨、魚骨等	大宜味村教育委員会
2	浦添城跡	H30. 3. 20	浦添市教育委員会	浦添市長	陶磁器、土器、瓦、銭、動物遺体等	浦添市教育委員会
3	与那原町字上与那原69-1番地他	H30. 3. 26	与那原町教育委員会	与那原町長	近代遺物、自然遺物(獣骨?、貝)等	与那原町教育委員会
4	勝連城跡	H30. 3. 30	うるま市教育委員会	うるま市長	陶磁器(中国産陶磁器、沖縄産陶器ほか)、土器、瓦、石器、鉄製品、自然遺物(貝殻、獣魚骨等)	うるま市教育委員会
5	田場遺跡	H29. 8. 10	うるま市教育委員会	うるま市長	沖縄産近世陶器、土器、自然遺物(貝類遺殻など)、現代遺物	うるま市教育委員会
6	中城城跡	H30. 4. 6	中城村教育委員会	中城村長	外国産陶磁器、国内産陶磁器、獣骨等自然遺物	中城村教育委員会
7	首里高校中城御殿	H30. 4. 27	沖縄県立埋蔵文化財センター	沖縄県知事	土器、石器、陶磁器、石製品、金属製品、銭貨、獣魚骨、貝、石材等	沖縄県立埋蔵文化財センター
8	具志原貝塚	H30. 3. 30	伊江村教育委員会	伊江村長	土器片、貝製品、貝殻、獣魚骨類、人骨等	伊江村教育委員会
9	長崎兼久遺物散布地	H30. 3. 30	名護市教育委員会	沖縄防衛局長	陶器、磁器、貝製品ほか	名護市教育委員会
10	許田貝塚	H30. 5. 28	名護市教育委員会	個人	土器、陶器、磁器、瓦、貝ほか	名護市教育委員会
11	登野城遺跡	H30. 5. 11	石垣市教育委員会	石垣市長	土器片、陶磁器片、貝製品、骨製品、鉄製品、石器、自然遺物	石垣市教育委員会

項目 No.	遺 跡 名	発見年月日	発 見 者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
12	登野城遺跡	H30. 7. 4	石垣市教育委員会	個人	土器片、陶磁器片、貝製品、骨製品、鉄製品、石器、自然遺物等	石垣市教育委員会
13	金武鍾乳洞遺跡	H30. 8. 19	沖縄国際大学・金武町教育委員会	金武区長	土器片、カムイヤキ、陶磁器、貝製品、骨製品、金属器(刀子、金属片)、石器、近現代遺物、瓦、貝、骨片(人骨、獣魚骨等、歯)、銀貨	沖縄国際大学・金武町教育委員会
14	大見武古島遺跡	H30. 6. 1	与那原町教育委員会	沖縄電力株式会社	土器、近世陶磁器、近代陶磁器、金属製品、自然遺物(木片・貝・骨・石)等	与那原町教育委員会
15	平良原の壕	H30. 8. 10	与那原町教育委員会	沖縄総合事務局 南部国道事務所	陶磁器片、金属製品、日用品等	与那原町教育委員会
16	喜友名ミーガー古湧泉、喜友名山川原第四遺跡	H30. 10. 31	宜野湾市教育委員会	宜野湾市長	青磁、褐釉陶器、沖縄産陶器、本土産陶磁器、銭貨、貝類など	宜野湾市教育委員会
17	宜野湾後原遺物散布地、神山後原丘陵古墓群、赤道渡呂寒原古墓群	H30. 10. 4	宜野湾市教育委員会	沖縄防衛局長	近世及び近代の陶磁器	宜野湾市教育委員会
18	仲間遺跡	H30. 11. 30	浦添市教育委員会	個人	陶磁器、瓦、動物遺体など	浦添市教育委員会
19	沖縄県名護市辺野古地先	H30. 11. 2	名護市教育委員会	沖縄防衛局長	土器、石製品、磁器、葉灰	名護市教育委員会
20	渡口・和仁屋近世墓群	H30. 12. 6	北中城村教育委員会	沖縄県知事	厨子甕	北中城村教育委員会
21	鏡水原遺跡	H31. 1. 8	沖縄県立埋蔵文化財センター	沖縄県知事	近世・近代陶磁器、土器、石器等	沖縄県立埋蔵文化財センター
22	中城城跡	H31. 1. 15	中城村教育委員会	中城村長	外国産陶磁器、国内産陶磁器、獣骨等自然遺物	中城村教育委員会
23	大山前門原第一遺跡	H31. 1. 10	宜野湾市教育委員会	個人	土器、青磁、褐釉陶器、沖縄産陶器、本土産陶磁器、貝、獣骨など	宜野湾市教育委員会
24	仲村渠殿遺跡	H31. 1. 31	南城市教育委員会	個人	土器	南城市教育委員会
25	根石グスク周辺遺跡	H31. 1. 31	南城市教育委員会	個人、国土交通省	土器、陶磁器、カムイヤキなど	南城市教育委員会
26	川平大兼久古墓群	H31. 2. 1	石垣市教育委員会	石垣市長	土器片、陶磁器片、貝製品、鉄製品、自然遺物等	石垣市教育委員会
27	普天間石川原遺跡、普天間グスクンニー遺跡、普天間下原古墓群	H31. 3. 4	沖縄県立埋蔵文化財センター	沖縄防衛局長	土器、石器、陶磁器、石製品、銭貨、獣魚骨、石材、人骨	沖縄県立埋蔵文化財センター
28	豊見城古島B遺跡ほか	H30. 10. 31	豊見城市教育委員会	沖縄県知事	陶器片、磁器片、金属製品、銭貨、土器片、動物骨	豊見城市教育委員会
29	親川	H31. 2. 8	与那原町教育委員会	与那原町長	近代遺物等	与那原町教育委員会
30	三津武嶽	H31. 2. 28	与那原町教育委員会	与那原町長	近代遺物等	与那原町教育委員会
30	普天間神宮寺	H31. 3. 14	宜野湾市教育委員会	個人	沖縄産陶器、瓦など	宜野湾市教育委員会

(5) 文化財保護法第107条に係る出土文化財譲与一覧

(平成30年4月1日～平成31年3月29日)

項目 No.	遺跡名	発見年月日	発見者	発見地の所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
1	勝連城跡	平成23年8月1～11月30日	うるま市教育委員会教育長	うるま市長	木製品、木片、陶磁器、土器、瓦、鉄製品など(20箱)	うるま市教育委員会

(6) 文化財保護法第92条第1項に係る発掘調査の届出一覧

(平成30年4月1日～平成31年3月29日)

項目 No.	遺跡名	所在市町村	調査主体・調査担当者	調査目的	遺跡の主な時期・性格及び遺構等
1	金武鍾乳洞遺跡	金武町	沖縄国際大学 総合文化学部社会文化学科 教授 上原 静	学術調査	グスク時代・集落跡

(7) 文化財保護法第99条第1項に基づく発掘調査の報告一覧

(平成30年4月1日～平成31年3月29日)

項目 No.	遺跡名	所在市町村	調査主体	調査担当者	調査目的	遺跡の主な時期・性格
1	谷茶の住民避難豪 谷茶の炭焼窯群	恩納村	恩納村教育委員会	崎原 恒寿	開発に伴う発掘調査(その他開発)	近現代
2	久茂地村跡	那覇市	那覇市 市民文化財課	内間 靖、仲宗根 啓、樋口 麻子	開発に伴う発掘調査(その他建物)	近代
3	宜野湾後原遺物散布地	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	長濱 健起	開発に伴う発掘調査(その他開発)	グスク
4	屋部貝塚	名護市	名護市教育委員会	吉元 貴子	開発に伴う発掘調査(住宅)	奈良・平安・グスク
5	許田貝塚	名護市	名護市教育委員会	真栄田 義人	開発に伴う発掘調査(住宅)	奈良・平安・グスク
6	真珠道跡(識名坂地区)	那覇市	那覇市 市民文化財課	天久 瑞香	開発に伴う発掘調査(道路)	グスク・近世
7	普天間石川原遺跡、 普天間グスクンニ 遺跡 普天間下原古墓群	宜野湾市	沖縄県立埋蔵文化財センター	具志堅 清大 荻堂 匠美	開発に伴う発掘調査(宅地造成・住宅)	縄文・グスク・近世・近代
8	渡口・和仁屋近世古墓群	北中城村	北中城村教育委員会	砂川 正幸 小橋川 剛	開発に伴う発掘調査(道路)	近世
9	サキタリ洞遺跡	南城市	沖縄県立博物館・美術館	澤浦 亮平	学術研究	旧石器・縄文・弥生・グスク
10	鏡水原遺跡	那覇市	沖縄県立埋蔵文化財センター	大堀 皓平	開発に伴う発掘調査(道路)	縄文
11	平良原の壕	与那原町	与那原町教育委員会	宮城 明恵	開発に伴う発掘調査(道路)	近代
12	末吉村跡	那覇市	那覇市 市民文化財課	樋口 麻子	開発に伴う発掘調査(公園造成)	近世
13	壺屋古窯跡	那覇市	那覇市 市民文化財課	吉田 健太	開発に伴う発掘調査(その他開発)	近世
14	中城御殿(首里高校内)、 大美御殿跡、かじ木植所跡	那覇市	沖縄県立埋蔵文化財センター	玉城 綾	開発に伴う発掘調査(学校)	グスク・近世・近代
15	仲間火又神	浦添市	浦添市教育委員会	菅原 広史	保存目的の範囲確認調査	近世
16	仲間遺跡	浦添市	浦添市教育委員会	瑞慶覧 長順	開発に伴う発掘調査(住宅)	グスク
17	豊見城グスク	豊見城市	豊見城市教育委員会	宮城 良真	開発に伴う発掘調査(その他開発)	グスク

項目 No.	遺 跡 名	所 在 市 町 村	調 査 主 体	調 査 担 当 者	調 査 目 的	遺跡の主な 時期・性格
18	親川	与那原町	与那原町教育委員会	宮城 明恵	保存目的の範囲確認調査	近世・近代
19	楚辺徳地原遺跡A・B	読谷村	読谷村教育委員会	上地 克哉	開発に伴う発掘調査(その他建物)	グスク
20	安室後ノ原古墓群	西原町	西原町教育委員会	山田 浩久	開発に伴う発掘調査(墓)	近世・近代
21	事謝川集落関連遺跡群	名護市	名護市教育委員会	宮城 智浩	開発に伴う発掘調査(その他開発)	近世・近現代

(8) 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所 文化財担当者専門研修参加者一覧

(平成30年4月1日～平成31年3月29日)

項目 No.	研 修 名	期 間	参 加 者	所 属
1	文化財担当者専門研修 「近現代建築保存活用課程」	平成30年7月9日～ 7月13日	安座間 充	金武町教育委員会
2	文化財担当者専門研修 「文化財写真課程」	平成30年11月26日～ 12月6日	具志堅 清大	沖縄県立埋蔵文化財センター
3	文化財担当者専門研修 「報告書編集基礎課程」	平成30年12月6日～ 12月13日	吉元 貴子	名護市教育委員会
4	文化財担当者専門研修 「報告書編集基礎課程」	平成30年12月6日～ 12月13日	玉榮 飛道	伊江村教育委員会

(9) 鉱業権法第24条の規定に基づく協議

(平成30年4月1日～平成31年3月29日)

項目 No.	出 願 地	出 願 番 号	鉱種名	出願 種類	回 答 内 容	
					所在埋蔵文化財	所在天然記念物等
1	伊江村	30 沖経出採般第2号	石灰岩	採掘	周知の埋蔵文化財	地域を定めず指定された天然記念物
2	本部町	30 沖経出採般第3号	石灰岩	採掘	該当なし	地域を定めず指定された天然記念物

6. 円覚寺跡保存整備事業（文化庁国庫補助事業）

（1）事業の概要

円覚寺は、尚真王が父尚円王の御霊を祀るために1492年に建立した臨済宗の総本山であり、第二尚氏王代の菩提寺でもあった。

琉球第一の巨刹で、総門をはじめ、三門、放生池、仏殿、龍淵殿、鐘楼、獅子窟等が昭和8年1月23日に国宝に指定されたが、去る沖縄戦において破壊され、国宝指定は解除された。戦後、総門や放生橋等の一部が復元整備され、公開されているが、それ以外の建造物群等は旧琉球大学運動場整備に伴い、客土による遺構の保護が行われていた。

本史跡は、県営公園の範囲に含まれており、隣接する首里城跡や円覚寺総門、龍潭、円鑑池等の史跡の整備及び公園整備事業（国、県土木建築部）との整合性を図り、その保全と活用・公開等を図るため、国の補助を受けて保存整備事業を実施している。

当該事業は、平成9年度から平成13年度までの5ヶ年計画で整備に先駆けて遺構調査が実施され、調査並びに聞き取り調査の成果に基づいて、平成14年度より境内を取り巻く石牆（土留め石積み）の復元整備を実施し、平成26年度から三門復元に取組んでいる。

（2）円覚寺跡整備委員会 建築部会

- ①平成30年9月13・14日（㈱国建 会議室 K's） 第1回 建築部会
- ②平成30年11月16・17日（㈱国建 会議室 K's） 第2回 //
- ③平成31年3月20日（㈱国建 会議室 会議室 K's） 第1回 整備委員会

平成30年度は、前年度に引き続き、平成28年10月に文化庁にて開催された「史跡等における歴史的建造物の取扱いに関する専門委員会」における三門復元の基本設計等について審議結果を踏まえて円覚寺跡復元整備委員会建築部会を開催し、仏教や古建築を専門家による三門について検討を行った。

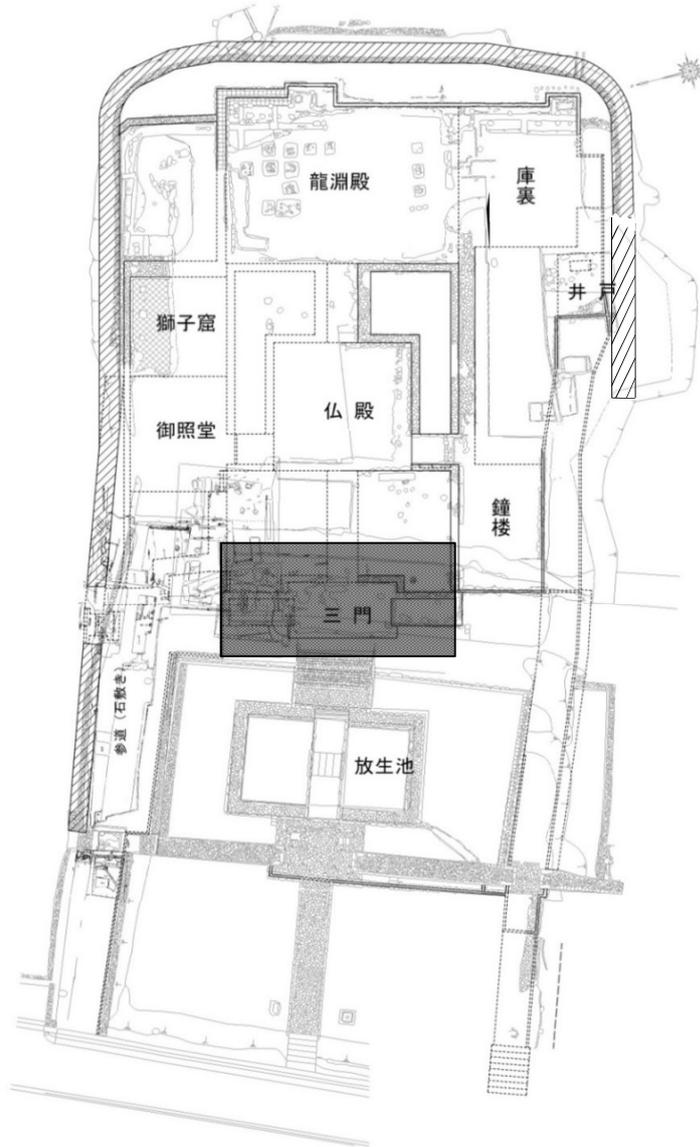
（3）円覚寺跡保存整備事業の事業費並びに事業箇所の推移

年度	事業箇所等	事業費	国費	工事請負費	委託料（設計・管理）
平成14年度	・石牆（土留め石積み） 修復工事（97.1㎡） ・工事用道路の設置	35,000	27,000	工事経費 28,822.5	委託料費 ・設計 5,617.40 ・監理 4,649.40 ・測量 968
平成15年度	・石牆（土留めの石積み） 修復工事（48.1㎡）	15,000	12,000	工事経費9,681	委託料費 4,935 ・設計 3,360 ・監理 1,575
平成16年度	・石牆（土留めの石積み） 修復工事（28.1㎡） ・工事用道路の設置 ・既存石積みの解体	15,000	12,000	工事経費 8,999.55	委託料費 5,355 ・設計 3,360 ・監理 1,291.50 ・測量 703.5
平成17年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（43.0㎡）	15,000	12,000	工事経費 8,999.55	委託料費 5,281.70 ・設計 2,324.70 ・監理 2,259.60 ・測量 697.4
平成18年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（42.0㎡）	13,500	10,800	工事経費 8,999.55	委託料費 3,525.00 ・設計 1,079.40 ・監理 2,445.60
平成19年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（30.0㎡）	14,986	11,988	工事経費 7,001.40	委託料費 3,865.00 ・設計 1,575.00 ・監理 1,786.00 ・測量 504
平成20年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（29.4㎡）	14,407	11,525	工事経費 6,990.90	委託料費 3,705.00 ・設計 1,680.00 ・監理 1,694.70 ・化学測定 330.3
平成21年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（27.0㎡）	14,340	11,472	工事経費 6,770.40	委託料費 3,771.00 ・設計 1,785.00 ・監理 1,470.00 ・伐採 516
平成22年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（44.5㎡）	17,677	14,141	工事経費 9,921.45	委託料費 3,768.45 ・設計 1,732.50 ・監理 1,695.75 ・年代測定 340.2

年度	事業箇所等	事業費	国費	工事請負費	委託料 (設計・管理)
平成23年度	三門地区地耐力調査	5,000	4,000	工事経費 0	委託料費 ・地耐力調査 4,730.668 4,730.668
平成24年度	石牆 (土留めの石積み) 修復工事 (17.5㎡)	19,229	15,383	工事経費 8,998	委託料費 ・設計 ・監理 3,769.00 1,832.00 1,937.00
平成25年度	石牆 (土留め石積み)	17,587	14,068	工事経費 4042.5	委託料費 ・設計 ・管理 2,702.80 1,570.80 1,132.00
平成26年度	三門復元基本設計	9,185	0	工事経費 0	委託料費 ・設計 8,640.00 8,640.00
平成27年度	三門復元基本設計	1,056	844	工事経費 0	委託料費 ・測量 712.80 712.80
平成28年度	三門復元実施設計 三門遺構調査	18,310	14,646	工事経費 0	委託料費 ・実施設計 ・磁気探査 13,359.60 12,852.00 507.60
平成29年度	三門復元実施設計	10,063	8,050	工事経費 0	委託料費 ・実施設計 5,724.00 5,724.00
平成30年度	三門復元実施設計 三門遺構調査	13,844	11,075	工事経費 0	委託料費 ・実施設計 13,165.20 13,165.20

平成30年度 円覚寺跡保存整備事業

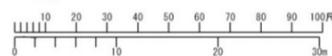
沖縄県立芸術大学側



首里城側

【凡例】

平成30年度復元検討箇所



7. 新たに国の指定になった文化財

(1) 国宝（建造物）の指定

① 玉陵

種 別：国宝（建造物）
所 在 地：沖縄県那覇市首里金城町1丁目3番
構 造・形 式：石造・切妻造
大 き さ 等：墓室：東室、中室、西室の三棟よりなる
各石造、切妻造、瓦葺、前壇および石階附属
石 牆：外周石牆、中央石牆の二棟よりなる
外周石牆 192.2m 中央石牆 40.8m

所 有 者：那覇市

建 築 年 代：弘治14年（1501年）

指定をする理由：玉陵は、首里城の西側に位置する琉球第二尚王統の王陵で、三代尚真王により1501年に築造された。ほぼ長方形の平面に廻らす石牆の奥に3棟の墓室を連立させ、前方に祭祀のための広い前庭を設ける。墓室は、自然の洞穴を利用しながら前面に石灰岩の切石を精緻に積みあげて切妻造の墓室を築造した、いわゆる破風墓の形式を持つ。中室には洗骨前の遺体を安置し、洗骨後に東室に王と王妃を、西室に王族を、それぞれ納骨したと考えられる。

玉陵は現存最古かつ最大の破風墓を中心とする規模壮大な王陵であり、琉球の葬送慣習を伝えるとともに、被葬者に応じて墓室を区分する王陵ならではの特殊性も有している。グスクと共通性のある空間構造を持ち、建築的特徴の顕著な墓室や高欄の精密な造形なども独特で、意匠的にも優れており、東アジアにおいて独自の文化的発展を遂げた琉球地方における、建築文化と葬墓制を象徴する極めて完成度の高い陵墓として、深い文化的意義を有している。

官 報 告 示：平成30年12月25日付け 文部科学省告示第230号



(2) 記念物の指定

① 弁之御嶽

種 別：史跡
所 在 地：沖縄県那覇市首里鳥堀町四丁目121番地外 1筆等
所 有 者：那覇市
指 定 面 積：43,613.09 m²
指 定 基 準：史跡の部 三（その他祭祀信仰）

指定をする理由：琉球王国の時代、国王の健康や国家安穩の祈願等、国家祭祀の聖域として位置付けられ、国王自らの参拝や、代参が行われた拝所の一つである。弁ヶ嶽ともいい、那覇市首里の東端、首里城跡の東方約1kmにある標高165.6mの丘陵に所在する。東西に走る道路を境に北側の大嶽と南側の小嶽に分かれる。「神仙来賁降遊之靈地」として、国王から民衆に至るまで「泰山北斗」のように仰ぎ尊び、多くの人々が参詣する御嶽とされた。正徳14年（1519）には、後に沖縄戦で大破する石門が建立され（『球陽』）、嘉靖22年（1543）には参道を石敷道に改修し、沿道に松を植える整備が行われた（『国王頌徳碑』）。大嶽の神名は、「玉ノミウヂスデルカワノ御イベヅカサ」、小嶽の神名は「天子」とされる（『琉球国由来記』）。小嶽には「天子」を拝む御拝所があり、その側には斎場御嶽の遥拝所も設けられていた。18世紀代には首里城の風水上重要な場所であると認識されて松の植樹が行われ、「冕嶽積翠」と称される景勝地ともなった。平成25年度には那覇市が記録に残る大嶽の拝殿跡を発掘して石敷遺構を検出する等、遺構が良好に遺存することを確認した。琉球における祭祀の在り方と、その歴史的変遷を理解する上で重要である。

官 報 告 示：平成30年10月15日付け文部科学省告示第189



弁之御嶽 大嶽



弁之御嶽 小嶽 西向き拝所

(3) 記念物の追加指定

① 斎場御嶽

種 別：史跡
既 指 定 地：沖縄県南城市知念字久手堅サヤハ254番
追 加 指 定 地：沖縄県南城市知念字久手堅サヤハ253番外 3筆等
既 指 定 面 積：44,643.00 m²
追 加 指 定 面 積：19,582.95 m²
指 定 面 積 総 合 計：64,225.96 m²
所 有 者：南城市

指定をする理由：琉球王国における最も重要な聖地。琉球の開闢神アマミクが創設した御嶽の一つとされ、国王が巡幸し、聞得大君の御新下も行われた。今回、御嶽に参詣

する際、清めに用いられたウロカー及び御門口に至る参道を含む部分を追加指定する。

官 報 告 示：平成30年10月15日付け文部科学省告示第195号



ウロカー



斎場御嶽遠景

(4) 記念物の追加指定及び名称変更

①アマミクヌムイ

旧 名 称：「アマミクヌムイ（アマミクの杜）」

今鬼神ノカナヒヤフ（テンチジアマチジ）及びこはおの御嶽（クバの御嶽）、
久高コハウ森（久高のフボー御嶽）

新 名 称：「アマミクヌムイ」

種 別：名勝

既 指 定 地：沖縄県国頭郡今帰仁村今泊4874番外 1筆

沖縄県南城市知念久手堅久高433番外 1筆

追 加 指 定 地：沖縄県南城市知念久手堅サヤハ433番外 3筆等

沖縄県浦添市伊祖三丁目803番外 23筆等

沖縄県那覇市首里鳥堀町四丁目121番地外 1筆等

既 指 定 面 積：184,923.00 m²

追 加 指 定 面 積：125,490.79 m²

（内訳：64,225.95 m²・南城市、17,651.75 m²・浦添市、43,613.09 m²那覇市）

指 定 面 積 総 合 計：310,413.79 m²

所 有 者：南城市、浦添市等、那覇市

指定をする理由： 調査研究により特定された13か所11地域のうち、既指定の3か所2地域に、「斎場嶽（斎場御嶽）」、「ゑぞゑぞのいしぐすく・金ぐすく（伊祖グスク）」及び「弁之御嶽」の3か所3地域を追加し、併せて指定名称を「アマミクヌムイ」に変更する。

官 報 告 示：平成30年10月15日付け文部科学省告示第196号



斎場嶽（斎場御嶽）：南城市



ゑぞゑぞのいしぐすく・金ぐすく（伊祖グスク）：浦添市



弁之御嶽：那覇市

8. 新たな重要文化的景観の選定

(1) 重要文化的景観の選定

①北大東島の燐鉱山由来の文化的景観

種 別：重要文化的景観

所 在 地：沖縄県島尻郡与那原町字与那原3148-1番他 9筆

所 有 者：北大東村他

選 定 面 積：162.4ha

選定をする理由： 北大東島は沖縄本島東方約360kmに位置する隆起珊瑚礁を起源とする地形を持つ南洋の離島であり、明治期に入って開拓が始まった歴史を持つ。特に、化学肥料の原料となる燐を多く含むグアノ（鳥糞石）が広く堆積していたことから、大正時代から戦後直後にかけて燐鉱石採掘が盛んに行われた。現在も島の北西部に位置する西港周辺では、採掘場、トロッコ軌道、燐鉱石貯蔵庫、船揚げ場等の燐鉱石採掘に関連する一連の生産施設が国内唯一残り、当時の社宅及び福利厚生施設等の生活関連施設が住宅群や民宿として継続的に利用されている。これらの施設では、珊瑚が風化して生成されたドロマイトの白い切石が多用されており、独特の景観を呈している。現在の北大東島の主産業はサトウキビ生産であるが、技術発展とともに近海漁業も盛んになりつつあり、西港周辺ではサトウキビ畑・ため池が広がる一方、往時の施設を利用した魚市場及び水産加工施設が点在する。日本列島南方の特殊な風土によって形成された離島において、大正時代から戦後直後にかけて燐鉱採掘が行われていたこと及びその後の産業変遷を知る上で重要な景観地である。

官 報 告 示：平成30年10月15日付け文部科学省告示第199号



燐鉱石採掘に関連する一連の生産施設全景



社宅及び福利厚生施設等の生活関連施設

9. 新たに県の指定になった文化財

(1) 記念物の指定

①田名城跡

種 別：史跡

所 在 地：沖縄県島尻郡伊平屋村字田名小字田名原 1776 番 1

沖縄県島尻郡伊平屋村字田名小字アッチャビシ原 2598 番 1 他 1 筆

所 有 者：伊平屋村等

指 定 面 積：268,575.13 m²

指 定 基 準：史跡の部 (1) 貝塚、集落跡、グスクその他この類の遺跡

指定をする理由： 田名城跡は、伊平屋村田名集落の北側背後の山に築かれた沖縄グスク時代の城跡である。標高179mの山頂部を中心にして鉢巻き状に石積みめぐらす。

地元では「ウッカーグスク」とも呼ばれる。

グスクの主体部の面積は、長軸約140m×最大幅約50mである。石積みの石材は、人頭大のチャートを利用した野面積みで、保存状況は良好である。構築者や築造年代等に関する文献資料や伝承等が残っておらず、詳細は判然としないが、表採される遺物や石積みの技法等から14世紀～15世紀に築造されたものと推定される。

主郭内には、曲輪や物見台および水場となる池がある。『琉球国由来記』に記載されている「城嶽御イベ（公儀祈願所）、神名コシアテ森」の御嶽もあり、現在、田名集落の住民は、旧暦9月にヤマナジの行事で、この御嶽を清掃している。

グスクへの城道は南側に取り付き、グスクへは田名集落の根屋である「田名屋」の脇から登攀するがその城道の左右には多数の小平場が点在し、グスクへの侵入を防ぐ工夫が認められる。また北東側の尾根筋にも堀切や土塁、土橋、堅堀等の防御遺構が造られている。

出土遺物については、本格的な発掘調査を待たなければならないが、表面踏査で青磁碗とカムイヤキ等の破片がわずかに表採されている。

このように、田名城跡は、天然の地形を巧みに取り込むと同時に野面積みの石積や曲輪、物見台、堀切、土塁、土橋といった遺構群を配置した極めて防御性の高いグスクであると評価される。よって、これを史跡に指定し、その保存を図る必要がある。

官 報 告 示：平成30年5月8日付け沖縄県教育委員会告示第5号



田名城跡遠景並びに登り口



頂上部への入り口

10. 指定文化財管理

(1) 国指定文化財管理事業

① 事業目的

文化財保護法の規定に基づき指定された重要文化財及び名勝等の維持管理の万全を期する。

② 事業内容

1) 防災設備保守点検等

指定文化財である建物等に設置した自動火災報知設備、消火設備など及びこれらに準ずる防災の保守点検等

2) 小修理

指定文化財である建物等の維持管理のための小修理

3) 名勝等庭園の荒廃防止及び民家等の環境整備

ア、名勝等に指定された庭園の適正な環境を維持するための除草、剪定、整姿等

イ、指定文化財である民家等の屋敷構え等の適正な環境を維持するために行う除草、剪定等

③ 事業主体

沖縄県

④ 事業の実績

(単位:千円)

文化財の種別	名 称	市 町 村	所 有 者	平成30年度実績額	総事業費	備 考
国指定重要文化財	中村家住宅	北中城村	中村国宏	347	22,276	(昭55～平29)
	上江洲家住宅	久米島町	上江洲智一	470	19,693	(昭54～平29)
	石垣氏庭園	石垣市	石垣長敏	128	2,352	(平15～平29)
	仲村渠樋川	南城市	仲村渠財産区	156	3,808	(平17～平29)
合 計				1,101	48,129	

11. 文化財愛護事業

(1)「私たちの文化財」図画作品募集

5月中旬～9月下旬の期間募集し、小学校1・2学年43点(13校)、小学校3・4学年45点(14校)、小学校5・6学年96点(20校)、中学校143点(20校)、高等学校70点(8校)、特別支援学校(中学部)3点(1校)、特別支援学校(高等部)1点(1校)合計401点(60校)の応募があった。

審査会:平成30年10月2日(火)13時～17時 沖縄県立総合教育センター 多目的ホール
 審査員:上原 進(県立総合教育センター) 二宮 陸生(西原町立西原東中学校教頭)
 知念 明香(県立北中城高等学校) 長嶺 まゆみ(県立泡瀬特別支援学校)
 伊禮 徳子(県立真和志高等学校)

審査結果は下記のとおりで、表彰式を11月1日(木)15時より県庁舎4階講堂で行い、10月29日(月)～11月2日(金)の期間、県庁舎1階の県民ホールで全入賞作品75点を展示した。

賞	小学校1・2年の部	小学校3・4年の部	小学校5・6年の部
最優秀賞	仲本 美絢 (カトリック小)	尾樽部 さら (大山小)	比嘉 留菜 (城西小)
優秀賞	高江洲 巴音 (壺屋小) 須磨 風佳 (久松小)	野原 舜矢 (城西小) 豊見山 諒亮(普天間第二小)	伊佐 茉佑子 (カトリック小) 岸川 藍 (城西小)
佳作	前泊 大舜 (カトリック小) 比嘉 一華 (カトリック小) 森川 廉也 (カトリック小) 毛呂 朱音 (カトリック小)	廣上 実来 (カトリック小) 森川 開斗 (カトリック小) 長谷川 琉海 (大山小) 島袋 林山 (松田小)	寄川 桜子 (カトリック小) 入里 雅 (城西小) 山端 大晴 (普天間小) 市野 智也 (登野城小)
入選	8名	8名	8名

賞	中学校の部	高等学校の部
最優秀賞	飯森 晴香 (港川中)	具志 鈴 (小禄高)
優秀賞	喜瀬 結子 (古堅中) 宮里 なすか (屋部中)	久手堅 彰哉 (知念高) 仲里 美海 (豊見城高)
佳作	中山 盛榎 (カトリック中) 齋藤 拓朗 (久辺中) 砂川 碧衣 (宜野湾中) 新川 にこり (西原東中)	名嘉 笑利香 (久米島高) 大城 海夏 (久米島高) 大城 佳哲 (首里高) 仲本 芽生 (興南高)
入選	8名	8名

(2)平成30年度文化財保護強調週間ポスター

11月1日～7日の文化財保護強調週間の啓発のため、平成29年度「私たちの文化財」図画作品募集小学生3・4年の部最優秀作品「エイサー」[真栄城帝都さん 長田小学校4年(受賞当時)]、中学校の部最優秀作品「国指定重要文化財大宜味村役場旧庁舎」[越野花音さん 琉球大学附属中学校1年(受賞当時)]を原画にポスターを作成し、市町村教育委員会、学校、公民館、博物館・文化財関係施設などに配付した。

12. みんなの文化財図鑑刊行事業

事業総額：15,778千円（国12,622千円、県3,156千円）

事業種別：沖縄振興特別推進交付金

事業主体：沖縄県

事業期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

事業目的：沖縄の歴史・文化への普及・啓発を行うため、国指定文化財、県指定文化財、市町村指定文化財を紹介する書籍、6冊を刊行する。刊行後は、県内の学校及び公立図書館を中心に配布するとともに、ハンドブック版については、観光客へのサービスとして世界遺産などの文化財と関連する施設に配布し、目に触れるようにする。

事業概要：沖縄県の文化財を広く普及するために、「有形文化財編」「無形・民俗文化財編」「史跡・名勝編」「天然記念物編」「埋蔵文化財編」「ハンドブック版」を作成する。平成30年度は「埋蔵文化財編」の刊行を行い、小中学校、高等学校、公立図書館など655ヶ所に配布した。

実施体制：文化財課で県内の文化財情報の収集、本文の執筆を行う。写真撮影、編集については業務委託を行う。

